

# 4R～7R 次期クラブ三役研修会 ...

## 2016-2017年

# 総合資料

- 開催日：2016年6月18日（土）
- 日 程：登録受付／13:00～13:30  
準備会／13:30～14:30  
分科研修会／14:40～15:40  
全体会議／15:50～16:50
- 会 場：山口県セミナーパーク

誠実！謙虚で絆を大切に We Serve



## Iwakuni



Japan 336-D 2016-2017

ライオンズクラブ国際協会 336-D地区  
次期キャビネット事務局

## 目 次

● 4R～7R 次期クラブ三役研修会来賓・講師・次期キャビネット 名簿	1
● 4R～7R 次期クラブ三役研修会出席者 名簿	2～3
● 4R～7R 次期クラブ三役研修会 次第	4
● 4R～7R 全体会議 席次	5
● 4R～7R 会長分科会 席次	6
● 4R～7R 幹事・会計分科会 席次	7
● 国際会長ハイライト・地区アクティビティスローガン	8
● 国際テーマのハイライト	9～11
● 2016～2018 年 国際理事候補者経歴書	12～13
● 2016～2017 年 ガバナー基本方針	14
● 2016～2017 年 ガバナーメッセージ	15～16
● 2016～2017 年 ロゴマーク	17
● 地区運営及び奉仕活動の重点	18～22
● クラブ運営について	23
● クラブ周年記念について	24
● 2016～2017 年 委員会構成・略称表	25
● 地区の組織と役員・委員の任務について	26～28
● キャビネットローテーションについて	29
● ライオンズクラブ組織表・336-D 地区組織表 ・第 63 回地区年次大会運営組織表	30～32
● 地区役員の連携活動について	33
● 336-D 地区リジョン連絡会議ガイドライン	34
● ガバナーズアワード(案)	35
● キャビネット会議 進行詳細	36～37
● 各種会議日程 (案)	38
● 2016～2017 年ガバナー公式訪問予定日程(案)	39～40
● 次期キャビネット活動計画(案)	41～42
● キャビネット業務分担表	43～45
● 取引銀行について	46
● 任務の代行 (案)	47
● キャビネット旅費・慶弔規定について (案)	48
● 地区名誉顧問会議承認事項	49
● 別紙 (資料⑨)	50
● 別紙 (YCE について)	51～56
● 別紙 (館内案内図)	57

## 4R～7R次期クラブ三役研修会講師名簿

### 次期キャビネット参加者名簿

#### ◎来賓・講師

氏名	役職名	所属クラブ
矢野 敏明	地区ガバナー	松江葵
竹下 雅雄	地区名誉顧問会議長	萩
中林 嘉明	次期第二副地区ガバナー	光
大羽 義定	地区常任名誉顧問	益田あけぼの
光貞 正明	地区名誉顧問	岩国錦
山根 健	地区名誉顧問	防府ゴールデン
山下 薫	地区名誉顧問	山口
田中 寿	元キャビネット会計	下関北

#### ◎次期キャビネット

氏名	役職名	所属クラブ
藤本 幸嗣	地区ガバナーエレクト	岩国桜
金田 寛治	次期キャビネット幹事	岩国錦
菊川 尊樹	次期キャビネット会計	岩国桜
矢野 匡亮	次期キャビネット副幹事	由宇
八百屋 仁	次期キャビネット副幹事	岩国
山口 秀敏	次期キャビネット副幹事	岩国錦
伊藤 秀行	次期キャビネット副幹事	大島
森 久子	次期キャビネット副幹事	平生
吉村 尊雄	次期キャビネット事務局長	由宇
重岡シゲ代	次期キャビネット事務局	

4R～7R次期クラブ三役研修会 出欠表

R	Z	所属クラブ	会 長	幹 事	会 計	
4R	1Z	1 岩国	末 田 幸 一 ○	山 本 忠 生 ○	吉 野 一 正 ○	3
		2 岩国錦	釘 本 博 文 ○	田 中 優 ○	岩 崎 和 彦 ○	3
		3 岩国桜	江 先 和 也 ○	玉 田 晃 欠	藤 井 伸 ○	2
		4 由宇	石 原 真 ○	藤 山 利 明 ○	山 縣 義 和 欠	2
	3Z	5 柳井	大 野 倍 代 欠	守 田 広 昭 ○	柳 川 光 行 ○	2
		6 大島	三 谷 俊 雄 ○	木 村 昭 彦 欠	保 積 健 司 欠	1
		7 田布施	山 本 和 俊 ○	中 市 博 之 ○	松 浦 哲 也 欠	2
		8 柳井中央	前 田 明 教 欠	水 津 和 代 欠	三 上 俊 樹 欠	0
		9 大島オレンジ	田 中 勝 志 欠	土 手 正 喜 欠	弘 永 崇 昭 欠	0
		10 平生	石 田 篤 樹 ○	播 元 妙 子 ○	谷 口 真 治 ○	3
		11 大島中央	藤 元 良 哲 欠	林 茂 樹 欠	木 下 猪 睦 欠	0
5R	1Z	12 下松	竹 尾 紳 一 郎 ○	弘 中 佑 兒 ○	嶋 員 久 ○	3
		13 徳山	藤 井 修 三 ○	矢 原 利 郎 ○	菅 良 恕 ○	3
		14 光	清 神 行 宏 ○	古 川 雅 之 ○	瀬 来 清 美 ○	3
		15 新南陽	福 井 克 則 ○	田 中 敏 和 ○	長 田 昭 彦 ○	3
		16 徳山東	野 田 佳 裕 ○	平 由 美 子 欠	有 熊 仁 ○	2
		17 徳山中央	椎 木 悦 朗 ○	石 井 哲 也 欠	重 高 博 行 ○	2
		18 下松中央	玉 井 興 司 欠	山 内 博 志 ○	辻 村 豊 之 ○	2
		19 周南	木 村 昌 生 欠	河 内 信 一 欠	河 村 憲 光 欠	0
		20 新南陽若山	深 海 季 夫 ○	山 田 圭 子 ○	井 上 博 ○	3
		3Z	21 防府	小 林 幸 夫 ○	宮 川 千 明 ○	阿 部 勝 正 欠
	22 防府中央		池 田 和 生 ○	灰 原 光 二 ○	中 谷 哲 欠	2
	23 防府 ゴールデン					0
	24 山口		西 谷 千 満 喜 ○	中 野 太 郎 ○	柴 田 尊 明 ○	3
	25 山口西京		和 泉 猛 ○	重 政 芳 巳 欠	廣 海 勝 ○	2
	26 山口中央		中 田 比 呂 子 ○	渡 辺 真 己 子 ○	松 谷 徹 欠	2

R	Z	所属クラブ	会 長		幹 事		会 計				
6R	1Z	27	宇部	脇 本 政 俊	○	田 村 辰 夫	○	西 本 直 樹	○	3	
		28	宇部ときわ	西 村 勝	○	児 玉 吉 弘	欠	大 久 保 文 江	欠	1	
		29	宇部新川	白 井 義 美	○	鷲 見 國 嗣	○	赤 川 和 恵	○	3	
		30	宇部 かたばみ	青 谷 和 彦	○	藤 野 隆	○	清 水 孝 雄	欠	2	
		31	宇部 サルビア	幡 生 広 彰	○	清 水 正 俊	○	佐 貫 龍 平	欠	2	
		32	宇部 ハーモニー	小 野 山 静 子	○	前 村 き み こ	○	竹 内 登 紀 子	○	3	
	2Z	33	小野田	松 下 由 可 里	○	長 岡 康 則	○	片 山 滋	欠	2	
		34	美祢	俵 克 彰	○	小 田 基 恵	○	田 中 泰 治	欠	2	
		35	山陽	村 田 康 信	○	木 村 文 彦	○	西 田 敬 太	欠	2	
		36	楠	大 谷 昭 治	○	茂 山 守	欠	三 浦 幸 之	欠	1	
	3Z	37	萩	富 川 芳 人	○	村 谷 幸 治	○	宮 本 直 治	○	3	
		38	長門	吉 津 弘 昭	○	安 藤 繁 之	○	白 石 裕 介	○	3	
		39	秋芳	原 田 泰 司	欠	林 英 行	欠	田 村 朋 彦	欠	0	
		40	田万川	板 井 英 文	○	美 原 喜 大	○	椋 晶 雄	○	3	
	7R	1Z	41	下関	梅 田 洪 武	○	勝 本 竜 一	○	杉 本 康 平	欠	2
			42	下関東	石 田 善 幹	○	村 新 太 郎	○	松 村 信 司	○	3
43			下関西	浅 井 美 由 紀	○	阪 口 廣 次	○	太 田 秀 実	○	3	
44			下関長府	金 田 幸 夫	○	平 野 貴 昭	○	毎 田 拓 浩	○	3	
45			下関北	古 藤 俊 彦	○	竹 下 博 成	○	藤 本 勝 治	○	3	
46			下関響灘	千 徳 米 法	○	織 田 学	○	古 谷 好 敏	○	3	
47			下関新下関	小 山 久 志	○	坂 井 秀 継	○	藤 田 義 人	○	3	
48			下関維新	植 田 泰 史	○	長 秀 龍	○	中 村 直 樹	○	3	
2Z		49	豊浦	中 丸 正 彦	○	古 田 登	○	浦 喜 智 嗣	欠	2	
		50	豊田山口	郷 田 文 一	欠	木 本 暢 一	欠	渡 邊 直 之	欠	0	
		51	菊川	中 橋 明 弘	○	吉 村 武 志	○	西 江 司	欠	2	
		52	豊北	満 畑 寛	○	加 藤 和 宏	○	安 富 伸 一	○	3	
		53	下関中央	池 田 秀 次	○	野 田 正 造	○	長 津 須 磨 子	欠	2	

44

39

29 112

## 4R～7R 次期クラブ三役研修会次第

日 時 : 2016年6月18日(土) 13:00～16:50  
 登録受付 : 13:00～13:30  
 場 所 : 山口県セミナーパーク

<b>準備会</b>	<b>13:30～14:30 【講 堂】</b>
	司会/次期キャビネット幹事 金田寛治
1. 開会のゴング	地区ガバナーエレクト 藤本 幸嗣
2. 国旗に敬礼	
3. 国歌斉唱	
4. ライオンズクラブの歌 斉唱	
5. 講師及び次期キャビネット構成員の紹介	
	次期キャビネット幹事 金田 寛治
6. 挨拶	地区ガバナー 矢野 敏明
7. 挨拶並びに地区運営基本方針	地区ガバナーエレクト 藤本 幸嗣
8. 研修会の説明	次期キャビネット幹事 金田 寛治

～ 休憩・移動 (10分) ～

<b>会長分科会</b>	<b>14:40～15:40 【一般研修棟 205】</b>
	司会/次期キャビネット幹事 金田寛治
会長の使命について (20分)	講師 地区ガバナー 矢野 敏明
(20分)	講師 地区常任名誉顧問 大羽 義定
(15分)	講師 地区ガバナーエレクト 藤本 幸嗣
質疑応答 (5分)	

<b>幹事・会計分科会</b>	<b>14:40～15:40 【講 堂】</b>
	司会/次期キャビネット会計 菊川尊樹
会員増強・アクティビティについて (15分)	講師 地区名誉顧問会議長 竹下 雅雄
幹事、会計の使命について (10分)	講師 次期第二副地区ガバナー 中林 嘉明
幹事の任務について (15分)	講師 地区名誉顧問 山下 薫
会計の任務について (15分)	講師 元キャビネット会計 田中 寿
質疑応答 (5分)	

～ 休憩・移動 (10分) ～

<b>全体会議</b>	<b>15:50～16:50 【講 堂】</b>
	司会/次期キャビネット幹事 金田寛治
1. クラブ三役の使命について	地区ガバナー 矢野 敏明
2. GMTについて	地区名誉顧問 光貞 正明
3. YCEについて及びご指導	地区名誉顧問 山根 健
4. 閉会のゴング	地区ガバナーエレクト 藤本 幸嗣

# 4R～7R次期クラブ三役研修会 準備会・全体会議席次

2016年6月18日(土) 13:30～14:30 (準備会)

5:50～16:50(全体会議)

会場: 山口市 山口県セミナーパーク 講堂

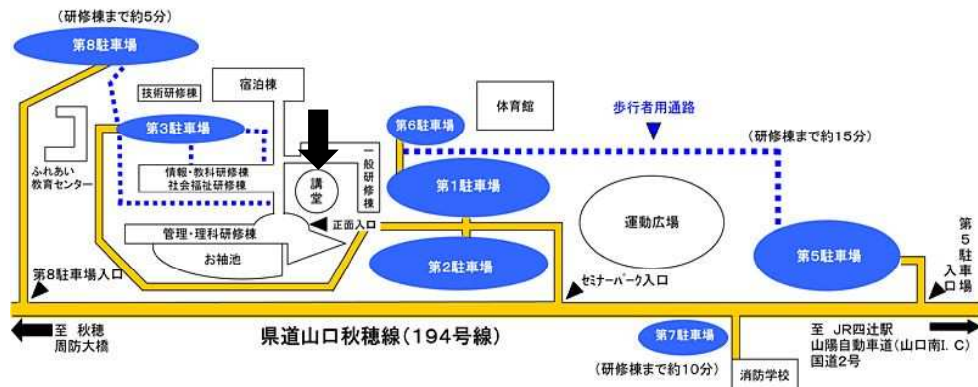
次期キャビネット副幹事 森 久子	次期キャビネット副幹事 伊藤 秀行	次期キャビネット副幹事 山口 秀敏	次期キャビネット副幹事 八百屋 仁	次期キャビネット副幹事 矢野 匡亮	次期キャビネット副幹事 菊川 尊樹	次期キャビネット会計 小林 嘉明	次期第二副地区ガバナー 藤本 幸嗣	地区ガバナーエレクト 矢野 敏明	地区ガバナー 竹下 雅雄	地区名誉顧問会議長 大羽 義定	地区常任名誉顧問 光貞 正明	地区名誉顧問 山根 健	地区名誉顧問 山下 薫	地区名誉顧問 田中 寿	元キャビネット会計
---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	-----------------	--------------------	-------------------	----------------	----------------	----------------	-----------

次期キャビネット幹事  
金田 寛治

司会

演台

自由席



# 4R～7R次期クラブ三役研修会 会長分科会席次

2016年6月18日(土)14:40～15:40

会場:山口市 山口県セミナーパーク 講堂

次期キャビネット副幹事 森 久子	次期キャビネット副幹事 山口 秀敏	次期キャビネット副幹事 八百屋 仁	地区ガバナーエレクト 藤本 幸嗣	地区ガバナー 矢野 敏明	地区常任名誉顧問 大羽 義定	地区名誉顧問 山根 健
---------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------------	-------------------	----------------

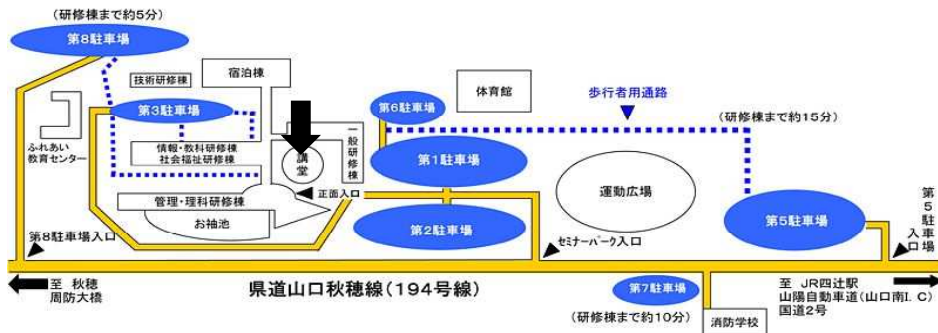
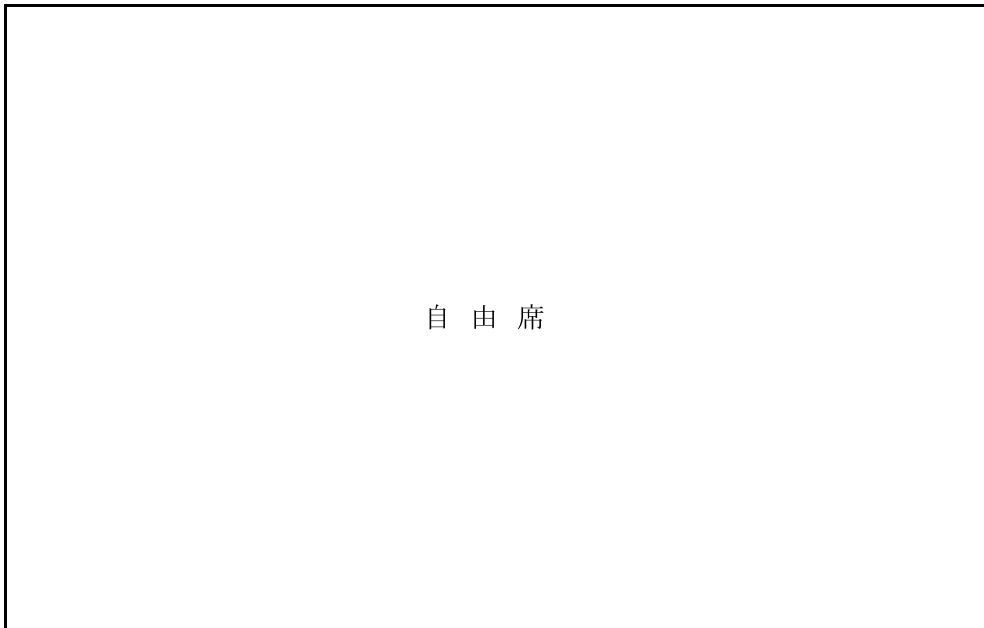


次期キャビネット幹事

金田寛治

司会

演台





# 4R～7R次期クラブ三役研修会 幹事・会計分科会席次

2016年6月18日(土)14:40～15:40

会場:山口市 山口県セミナーパーク 研修室101

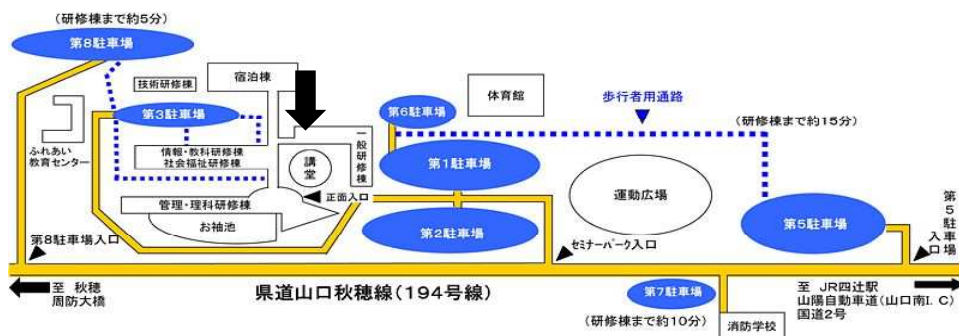
次期キャビネット副幹事 伊藤 秀行	次期キャビネット副幹事 矢野 匡亮	次期第二副地区ガバナ― 小林 嘉明	地区名誉顧問会議長 竹下 雅雄	地区名誉顧問 山下 薫	地区名誉顧問 光貞 正明	元キャビネット会計 田中 寿
----------------------	----------------------	----------------------	--------------------	----------------	-----------------	-------------------

次期キャビネット会計  
菊川 尊樹

司会

演台

自由席



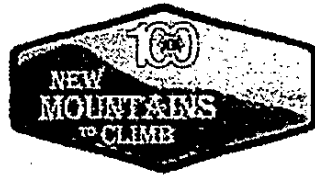
国際会長ハイライト

NEW  
MOUNTAINS  
TO CLIMB

地区アクティビティスローガン

光と愛を

## 2016-2017年度国際テーマのハイライト



ボブ・コーリユ一次期会長の故郷、テネシー州は、さまざまな風景と音にあふれています。なだらかに起伏する丘陵や山々、ミシシッピ川の流れ、そして農業、産業、野生の命などが織りなす風景や音が、テネシーの温かいもてなしの文化を育んだ独特の風土を作り出しています。テネシーの人々は、隣人が隣人を助け、見知らぬ者が見知らぬ者を助けるという、古き伝統に立って暮らしています。それゆえに、テネシーはこれからも「ボランティア・ステート」として末永く知られるでしょう。

少年時代にテネシーで身につけた伝統と、困難を乗り越えチャンスを活かして山中での生活を切り開いた先人たちの独立心を受け継いだコーリユ一次期会長が、2016～2017年度国際テーマとして掲げるのが「次なる山を目指して」です。

このテーマでは登山が、克服に最大限の努力を要する、困難で険しい課題の喩えとして描かれています。しかし、こうした山を乗り越えてこそ、私たちは成長することができるのです。一つひとつの山が、新しいチャレンジ、新しいチャンスを表しています。私たちの住む世界が絶えず変化するにつれ、奉仕の新たなチャレンジ、新たなチャンスが訪れます。その一つひとつが山なのです。そしてそれらの山々を登る時、ライオンズは世界をより良い場所にする機会を得ます。

ライオンズ奉仕の100年を祝うに当たり、私たちは過去に敬意を払い、現在を見つめ直しますが、見据えなければならないのは、未来です。次なる山を乗り越えようとするならば、後に続く次世代のライオンズたちに道を示し、奉仕の伝統を守るため、眼前に進むべき道を整えなければなりません。

### 奉仕の頂点に達する

山頂に達するのは、旅の終わりではありません。新たな旅の始まりです。新たなチャンスです。奉仕を通して導く。それこそが、われわれの強みなのです。奉仕こそが組織の存在意義の根底にあるべきというビジョンを全員が確実に共有するため、引き続き、ライオンズの奉仕イニシアチブと各種プログラムを吟味しなければなりません。これからも、人道奉仕におけるグローバルリーダーとしての地位を高めつつ、奉仕を通して導くべきなのです。

ライオンズは、環境保護、青少年の生活向上、飢餓をなくす取り組み、視力関連の奉仕活動という四つの主要分野をはじめとするさまざまな方法で、健やかな地域づくりに貢献しています。ライオンズはこれからも、奉仕の新たなチャンスを捉え、「われわれは奉仕する」のモットーを實現し続けます。高すぎる山はないのです。

2014年に100周年記念の取り組みが始まった際、ライオンズには次なる山である「100周年記念奉仕チャレンジ (CSC)」に登ることが呼びかけられました。CSCでは、2018年6月30日までに四つの主要奉仕分野で1億人以上の生活にインパクトを与えることをライオンズに勧めています。初年度に、私たちは目標の3分の1以上を達成しました。そして2年目を終えようとする今、3分の2の数字をゆうに越え、目標達成は目の前です。

### 地域社会とつながる

必要とされる奉仕を行うことで、揺るぎない絆が生まれ、ライオンズクラブは真に地域社会とつながることができます。大小問わずどんな地域でも、100周年記念レガシー・プロジェクトを行う機会があります。世界中のライオンズがこの新しい挑戦を受けて立ち、ライオンズの素晴らしい活動と、創立100年目にわれわれが登頂した山々を、会員と地域住民にいつまでも思い出させてくれる永続的な遺産（レガシー）を築き上げています。レガシー・プロジェクトでは、20,000クラブ以上の参加を目指しています。この特別事業に参加し、ライオンズのロゴを永続的な形で明確に表示すること、そして国際協会に事業を必ず報告することが、すべてのライオンズに奨励されています。レガシー・プロジェクトについての詳細は、「Lions100.org」ウェブサイトに掲載されています。

### 次の山を越えるためのリーダー

増え続ける奉仕へのニーズに応えるべく、行く手にそびえる山を一つひとつ越えていくためには、効果的かつ効率的にそれを行う必要があります。それを可能にするのが、優れたリーダーの存在です。奉仕を強化するには、力強いリーダーシップが不可欠です。そして奉仕を強化することが、強いクラブ作りにつながり、強いクラブがメンバーの誇りと、積極性、情熱を生むのです。

100年祭を祝うに当たり、われわれは未来に向けて計画を立てなければなりません。リーダーシップの育成こそが、奉仕の次世紀に突入しても、時代にマッチした、活力にあふれる組織であり続けるための手段です。引き継ぎを念頭に置き、長期に渡りわれわれを導き支えることのできる、知識と、能力と、情熱と、先進的な考えを持ち併せたライオンズリーダーを、十分に確保しておくことが重要となります。

頂上を目指すのであれば、有能なリーダーだけでなく、正しい道具を揃えることも必須です。ライオンズのリーダーシップ育成における各種プログラムや、ツール、資料によって、世界何千人というライオンズがスキルを磨き、課題にうまく対応するだけでなく、未然に防ぐ技術をも身につけてきました。会場で行う研修でも、オンラインでの研修でも、好みに合ったトレーニングを受けることが可能です。国際協会とGLTが用意する幅広い研修と育成のチャンスを利用することで、さらなる高みを目指すよう、コリニュー次期会長はすべてのライオンズに呼びかけています。

### 新会員勧誘によるインパクト拡大でチームをつくり上げる

ライオンズクラブ国際協会は、他者により良い奉仕をするという共通目標に向かい手を取り合う、多くのチームで構成されています。この目標を目指す上で、私たちは個々の役割と責任を理解し、目標達成という共通のフォーカスを保ち、自分を信じ、互いを信頼し、チームメンバー一人ひとりの個性を尊重します。この五つの価値観こそが、良いチームに欠かせないものであり、頂点に達することを可能にしてくれるものです。

チームの一人ひとりが重要であり、全員が影響力を持っています。私たちは仲間を増やさなければなりません。一人の新会員が奉仕によって影響を与える人の数は最低30人です。つまり、1,000人が新たに入会すれば、3万人の人生に影響を与えることができるのです。これこそ、私たちが組織を拡大しなければならない理由です。新会員を招請してインパクトを高める必要があるのです。

100周年記念期間の目標は、すべてのクラブが毎年少なくとも3人の新会員を増やし、すべての地区が少なくとも一つの新クラブを結成することです。これは約13万8,000人の新会員を意味します。たった5%の増加にしか相当しませんが、それによって奉仕のインパクトを受ける人は410万人も増えることになるのです。力を合わせれば、この頂点にたどり着くことができます！

### 山々をつなげる

山というのは決してそれだけで孤立しているものではありません。つながっているものです。テネシー州を縦断するアパラチア山脈のような連なりの一部なのです。ライオンズもまた、奉仕を通じ、友情を通じ、またライオニズムを通じて、つながっています。世界中のライオンズがインターネットを介して互いにつながるようになり、世界は前よりも小さくなっています。

これまで以上にライオンズはテクノロジーを取り入れ、ソーシャルメディアを駆使して一般社会とつながっています。オンライン例会を試しているクラブもあります。国際役員たちは、一国にいながらにして、他国で集まるライオンズに講演を行うこともできるようになりました。電子的なコミュニケーションの使い道は多岐にわたります。より幅広い、より多様な相手に情報を伝達できること、時間と経費の節約になることなど、そのメリットもまた多数あります。

ライオンズの創始者、メルビン・ジョーンズは、ライオンズやまだライオンズクラブのない地域と、個別に連絡を取ることに膨大な時間を費やしました。彼の手紙は、ライオンズを動かし、新クラブ結成へと駆り立てました。私たちが未来を計画する上で、テクノロジーは重要な役割を占めます。ライオニズムの効率、便宜、拡大の精神にもとづき、メルビン・ジョーンズもこれを認めてくれることでしよう。

### 次なる山、そしてその向こうへ

100周年祭が終わってからも、私たちの行く手には越えるべき新しい山が現れ続けるでしょう。前進すればするほど、世界各地で高まり続ける奉仕のニーズが次々と立ちはだかるでしょう。だからこそ、私たちは前進しなければなりません。ライオンズは、その山の一つひとつを乗り越えなければなりません。その山とは、私たちが必要とする人々なのですから。

「LCIフオーワード」は、ライオンズの奉仕のインパクトを拡大し、現在の運営体制を改善して、ライオンズ奉仕のもとに人々を一つにする新たな道を模索するために考案された戦略計画です。LCIフオーワードの主なゴールは、年間2億人以上、つまり現在の3倍以上の人に奉仕を提供することです。

さらには、世界で最もよく知られるボランティア組織／ブランドを目指すと同時に、クラブ、地区、そしてライオンズ・ファミリーに最上級のサービスを提供すること、そしてライオンズの名のもとに人道奉仕活動に人々を巻き込んでいくための斬新な方法を探ることも掲げています。

2017年のシカゴ100周年記念大会の際には、新しい主要グローバル奉仕分野を大々的に発表する予定です。これは、すべてのライオンズが受け入れ、一般社会に広く認識される、統合的な奉仕のプラットフォームとなるものです。世界中のライオンズが、登るのを心待ちにする、新しい山なのです！

### 頂上からの眺め

次なる挑戦。次なる目標。次なる奉仕の対象。次なる山を目指して、私たちの仕事はまだまだ終わりません。奉仕の次のレベルを目指しながら、次世代のライオンズのための道筋を残さなければならぬことを、私たちは知っています。コーリユー次期会長は、新たな高みへと引き続き登っていくこの旅に加わるよう、すべてのライオンズを招いています。

## 国際理事候補者経歴書 (2016～2018)

### ◆第1議案

2016～2018 度国際理事立候補者について

2016～2018 度国際理事立候補者として、L 中村泰久 (330 複合地区より立候補 大宮北 LC 所属) が国際理事選挙管理委員会において 8 複合地区統一候補者として推薦され、その後第 54 回東洋東南アジア・フォーラムにおいて承認された。よってここに確認し、福岡国際大会の選挙での決定に 336-D 地区として応援したい。

## 国際理事候補者経歴書 (2016 年～2018 年)



中村 泰久 (なかむら やすひさ)

所 属 330-C 地区 第 3R・第 2Z 大宮北ライオンズクラブ  
 生年月日 1963 年 1 月 4 日  
 住 所 〒337-0051  
 さいたま市見沼区東大宮 1-91-9  
 勤 務 先 中村運送株式会社 中村ビル 代表取締役社長  
 〒330-0835  
 さいたま市大宮区北袋町 1-103-1

### ライオン歴

1993 年	大宮北ライオンズクラブ入会
2003 年～2004 年	330-C 地区 YE 委員会 委員長
2004 年～2005 年	大宮北ライオンズクラブ会長
2008 年～2009 年	330-C 地区 第 3R 第 2Z ゾーンチェアパーソン
2010 年～2011 年	330-C 地区 第 2 副地区ガバナー
2011 年～2012 年	330-C 地区 第 1 副地区ガバナー
2012 年～2013 年	330-C 地区 地区ガバナー
	330 複合地区 ガバナー協議会 会計
2013 年～2014 年	330-C 地区 前地区ガバナー名誉顧問会 議長
	330 複合地区 青年アカデミー委員会 委員長
2014 年～2015 年	330 複合地区 青年アカデミー委員会 委員長

### 主なアワード歴

2006 年	国際協会会長感謝状
2011 年	国際協会会長感謝状 LCIF5000 ドル LCIF 理事長感謝状
2012 年	国際協会会長感謝状 LCIF5000 ドル LCIF 理事長感謝状
2013 年	国際協会会長感謝状 LCIF5000 ドル LCIF 理事長感謝状
2014 年	国際協会会長感謝状 LCIF5000 ドル LCIF 理事長感謝状
2015 年	LCIF3000 ドル LCIF 理事長感謝状 メルビン・ジョーンズ・フェロー 29 回

## ご 挨拶

ライオンズクラブ国際協会  
2016~2018 年度 国際理事候補者

L. 中村 泰久

(330-C 地区 3 R2Z 大宮北 LC)

1917年に設立されたライオンズクラブは、記念すべき100周年を迎えます。

これまでの偉大な歴史と諸先輩の経験を尊重しつつ、ライオンズクラブのさらなる発展のために必要な変化と改革を促し、あらゆるメンバーが感動と共に奉仕活動を行うことができるよう、次の通り、不断の決意で邁進してまいります。

1. 老・壮・青の融合を推進し、良き伝統を継承しながら、新たなリーダーの発掘・育成に取り組みます。中でも、豊かな感性を有する女性会員の力を活かすことが不可欠と考えており、国際協会の進める女性会員推進プログラムを強力に支援していきます。若手会員はライオンズクラブの未来を約束するカギであり、メンバー相互の交流を促しながら、若手メンバーのモチベーションとリーダーシップを高め、入会5年未満の退会防止に取り組むことを通じて、クラブと協会の活性化をはかってまいります。
2. 多くの皆様にとり、国際協会があまりに遠いものになってはなりません。国際理事としても、国際協会からの指示を持ち帰るだけでは、日本を含めた多くのメンバーの声に応えることにはなりません。国際協会及び事務局の人脈作りに努め、しっかりと根回しをしながらクラブの声を実現していきます。
3. ライオンズクラブの内部に対しては国際協会・理事会の方針や情報を適切に伝達し、外に対しては知名度を向上させられるよう、協会広報部の改革に努めてまいります。
4. 皆さんから遠い存在の国際理事になってはならないと、強く感じています。国際理事に就任させていただいても、多様な皆様と意見交換をしながらライオンズクラブの発展に寄与できるよう、メンバーの皆様とカジュアルな関係を構築・維持してまいります。
5. 100年を迎えるにあたり、改めてメルビン・ジョーンズの「我々が求めてきたのは、奉仕の先にある友情である」という言葉を実践し、We Serveの下、メンバーの皆様と一緒にライオンズクラブを未来永劫発展させる役割を担ってまいります。

# ガバナー基本方針

## 【ガバナースローガン】

### 誠実！謙虚で絆を大切にWe Serve

- 1) 国際会長の方針を尊重し活動します。
- 2) 会員増強・会員維持、特に若年会員・家族会員の増強に努力します。
- 3) 楽しいクラブを目指します。(親クラブが指導、ゾーン内の合同例会等、和を大切に理解を深めます。
- 4) 青少年健全育成に努めます。
- 5) 奉仕活動をより活発に行い、献眼・献血活動はさらに充実を計り、社会に貢献致します。(高校生の献血者に卒業時にボランティア証明書を贈呈する。)
- 6) YCE活動を活発化させ、国際感覚の青少年を育てます。
- 7) ライオンズの原点に戻り、地域に根差した奉仕の和・会員一人一人の絆を大切に地域に愛されるライオンズを目指します。



## 2016～2017年度 ガバナーメッセージ

今年、100年と言う節目の年を迎えることとなりました。100年目が終わろうという年に、日本の山田国際会長が誕生し次年度はLCIF会長に就任されます。山田国際会長の指導により、会員がかなり増加したことも事実です。強引な手腕ではありましたが、1年間一生懸命に頑張られたと思います。家族会員を増やし、御子息様を入会させ、将来のライオンズマンを育てた事と思います。また、今期が終われば100年が終わり1年目がスタートします。1世紀が終わり2世紀に入ることと思いますが、最後の99年の年に再度、ライオンズの原点に戻っていただき、ライオンズの道德綱領を再度確認しそして認識していただきライオンズクラブ国際協会の目的も再確認しライオンズマンとして誠実で、そして謙虚で、そして破壊は避け、絆を大切に、地域に愛され尊敬される団体を目指して日々努力し精進していただきたいと思います。そして、再度、親クラブは子クラブの例会に年に1度は、例会訪問をして絆を再確認し子クラブの動向を調査しアドバイスを与えていただきたいと思います。親クラブは子クラブを可愛がり、子クラブは親クラブを敬う絆の深い関係を築いて頂きたいと思います。当たり前のように思われますが、再度認識して頂きたいと思います。そのためにはリジョン・ゾーン内での合同例会など開催してゾーン内の友和をはかりゾーン内の絆を大切にし仲慎ましい関係になって頂きたいと思います。ガバナースローガンも『誠実・謙虚で絆を大切に We Serve』とさせて頂きました。ライオンズメンバーが一致団結して強い絆ができれば、やはり世界で一番の奉仕団体を持続できると思いますので宜しくお願いします。再度、ライオンズ必携の目的・道德綱領・スローガン・モットー・ライオンズの誓いビジョン声明文・使命声明文・環境憲章・ライオンズと呼ばれる人・ライオンズの光再度、お読みいただき目標を立てて頂きたいと思います。

- 各クラブが会員増を目指し、正会員を各リジョン各ゾーンで5%を目標として下さい  
地域によってはその維持に苦勞されているクラブも多く、1名の増もなかなか難しい  
と思いますが、増やせども減らさずをモットーに頑張ってくださいと思います。  
ゾーン、リジョン内で絆を深め、助け合って活動していただきたいと思います。
- クラブ支部を作ってください。  
会費が負担であるとか、なかなか月2回の例会に出られないなど様々な理由で、奉仕  
は必要であると認識しながら退会される、あるいは入会をためらう人がいることも事  
実です。その為に **your club your way** の冊子もあると考えます。多くの人が奉仕活  
動をしていただける為にハードルが低い支部も必要であると考えます。今まで続いて  
きた、今までの親クラブの奉仕に参加していただいても良いのです。
- 家族会員は正会員としてカウントされます。  
家族及び女性コーディネーターの指導のもと、ぜひ奉仕活動に参加して下さい。
- PR・情報委員会は新たにアラート委員会の役目も担当します。  
地元での災害に迅速に対応する準備はいつしておいても早すぎることはありません。  
非常時の連絡網、あるいは、炊き出し等の対応等、家族会員の奉仕のあり方等も検討  
します。
- 保健福祉環境保全  
献血活動では特に力を入れて各高校生に声をかけて献血活動に参加していただき、卒  
業時にはボランティア証明書を配布したいと思っております。委員長は決まってお  
りますが、委員会活動の継続性を重視し、副委員長制を持たせたいと思います。
- 青少年健全育成  
保健福祉環境保全と同様に委員長は決まっておりますが、委員会活動の継続性を重視  
し、副委員長制を持たせたいと思います。
- YCE 活動  
今年度 YCE も特に力を入れて今年度活動していきたいと思っております。
- 今回、国際会長感謝状・リーダーシップ賞は、キャビネットスタッフでなく  
☆エクステンションをされた ☆大幅な会員増強をされたクラブの会長、あるいは個  
人・RC・ZCに国際会長から表彰してもらいます。

誠実！謙虚で絆を大切に We Serve



# Iwakuni

Japan 336-D 2016-2017



この度のロゴマークを同様にさせて頂きました。

Dのアルファベットをもじって描いたものです。

D地区を白蛇にたとえて描かせて頂き、岩国桜ライオンズクラブの桜マークを入れさせて頂きました。

縁起の良い白蛇で描き、輪になってライオンズクラブの友和をはかり、未来を見つめる目を備えて進んで行きたいと思い描きました。

今年のロゴマークです。宜しくお願い致します。

## 地区運営及び奉仕活動の重点

### 1. 地区キャビネットのあり方

地区内ライオンズクラブの融和強調を図るとともに、ライオニズムの高揚のために、ライオンズクラブ国際協会の理念を基に、336複合地区ガバナー協議会の基本方針に従い、336-D地区各クラブの要望に応えるべく、積極的な情報収集に努め、円滑なクラブ運営となるよう指導していく。

### 2. キャビネットの合理化の推進

- 1) キャビネット運営の合理化を継続し、経費の節減を図る。
- 2) 各種会議を見直し簡素化を図るとともに、委員長会議他、数時間程度や10名程度の会議はWeb会議を試行する。
- 3) 各種会議の議事録を作成する。
- 4) 地区名誉顧問会議については、次年度キャビネット開局後、ガバナーの要請に応じて開催する。

### 3. 事務の合理化 IT の活用

ITを活用し、事務の簡素化を進める。

- 1) キャビネットHPを活用し情報収集及びPRを実行する。
- 2) サバンナを活用しマンスリーに記入し、それと同時にMyLCIに報告する。
- 3) ペーパーレス化を進める。

- 地区役員名簿・各種会議議案資料等の情報は、HPでデータの一元管理を行う。
- 情報のデータベース化・共有化を図り、時代に即したマルチデバイスへの対応を試行する。なお、必要と思われる書類に関しては、各クラブで印刷し使用する。

---

## 経費削減に関する諸案

- RC・ZC・各委員長の活動費は定額支給とし、活動計画を立案して担当副幹事を通じて必要経費を請求する。
- 地区名誉顧問会議はキャビネット方針審査時と、適宜必要とした時に必要に応じてガバナーの要請で開催する。(交通費・宿泊費支給)
- 地区名誉顧問の方々にキャビネット会議のご案内はいたします(第1回・第4回のみ交通費・宿泊費支給)が、リジョン・ゾーンで会議等を開催するときは出席要請をする。(交

通費は不支給)

- キャビネット会議前の地区常任名誉顧問会議は必要に応じてガバナーが開催する。
  - 国際本部からダウンロードできる日本語資料は、ダウンロード先を明記して補足資料とするので、出席者は必要と判断すれば各自でダウンロードしていただきたい。
  - キャビネットフラッグ・バッジは最低限作成する。キャビネット便箋は市販で対応する。
  - 獅子吼は年3回発行し、各クラブのアクティビティ等は 336-D の HP で随時掲載する。
  - 地区役員の名刺は委員長以上作成する。
  - 地区役員、クラブ3役の写真は各自提出のものを使用する。
- 

#### 4. ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問をゾーン単位の合同訪問とし、ゾーン内の融和を図り、各クラブの意見を聴取する

- 1) 節減のため、質素な形式にしながらも、共通の話題を語り合う。
- 2) 公式訪問前にクラブに対して質疑事項を送付し、訪問時口頭で回答する。
- 3) 公式訪問時に例会訪問を実施する。(希望)
- 4) 公式訪問の次第を事前に ZC へ伝達する。

#### 5. 奉仕活動の改革

人口減少、地域の高齢化等も進み、従来とは異なる方法の奉仕活動、会員増強、エクステンション等が求められている。それぞれの地域にあったクラブ運営、奉仕活動事業等の取り組みをしていただきたいと思います。

#### 6. PR・情報

広報活動とは、会員及び地域社会に対してライオンズクラブの奉仕事業や活動を推進し、ライオンズクラブ国際協会に関する情報を広め、協会のイメージの高揚に努めることでもあります。地区での任務に当たるのは、地区 PR・情報委員長です。PR・情報委員長はプログラムが正しく伝えられるように、各委員長と密接に情報交換し協力していかなければなりません。IT の固定化により、インターネットを活用し、情報をインプットし収集できるようになっております。各クラブの事務局においてもクラブ員各位に広く活用していただくよう推進をお願いします。なお、普及していないクラブには、キャビネット事務局よりクラブ事務局を通して対応します。

※アラート委員会については前記しました

## 7. GMT・GLT・FWT

会員増強とドロップの防止、さらにエクステンションの推進を継承します。

今年度国際会長のホブ・コーリュー会長の方針・目標を見据え、会員増強を積極的に推し進め女性または若い会員のパワーをクラブに持ち込み、そのクラブが奉仕を通じて新鮮で進化していくことを目標とします。

なお、退会者が出ないように防止に向けてクラブ・ゾーンで事前に対処していただくようお願いいたします。

### 1) GMT (グローバル・メンバーシップ・チーム)

1～7Rの委員長は地区委員と共にその責務を果たして下さい。

### 2) FWT (家族及び女性チーム)

家族会員については、当地区はまだ定着しておりませんが、クラブ内でもFWT担当者の専任を明確にさせていただき、できれば正・副の担当者を置いて頂きたいと思えます。

そして、家族及び女性コーディネーターとも協力して会員増強に取り組み、和やかな中にもクラブの活性化を図って下さい。

### 3) GLT (グローバル・リーダーシップ・チーム)

GMTと共同で未来のライオンズを担える人材を育成する為に研修会を開催し、その推選をP・D・C・Aで検証して参ります。

### 4) 会員維持のためドロップをなくす努力をしていただき、また、会員増強についても各クラブを指導して下さい。

### 5) 会員純増目標

リジョン・ゾーン単位で5%以上としていただきたい。

### 6) 別記のアワードでも記載していますが、今期は国際会長表彰状・リーダーシップ賞の4名は、ガバナーチーム・役職員ではなく、最も会員増強に活躍されたクラブ会長および会員に差しあげます。

## 8. YCE 事業

ライオンズクラブYCE事業(交換学生)は、世界ライオンズとのネットワークで行われており、交流により国際的視野を深め、世界平和へ貢献できる青少年健全育成を目的としているものです。今年も積極的に推進して行きましょう。

今期は副委員長を置き、通年にわたるアクティビティに連続性をもって対応する。

## 9. 保健福祉環境保全「献眼・献血」

地区アクティビティスローガン「光と愛を」にあるように、献眼運動はライオンズクラ

ブの奉仕活動の主要テーマです。今年度も積極的に献血登録を推進して行くと共に、献血発生時には迅速正確な対処を図るよう、研修会の開催等で理解を深めてまいります。

献血運動は日本に限らず、世界においても有数の献血推進団体として協力し、素晴らしい成果を上げております。しかし、若年層の献血者が少ないとのデータが出ています。そうした状況を踏まえ、特に若年層への啓発を重点において、積極的に献血運動を展開していただきたい。今年も引き続き、献血・献血0クラブをなくす努力をお願いします。また、正・副の委員長制の導入していただきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

## 10. LCIF への寄付金推進

LCIF はライオンズ国際財団と称し、寄付を受けた基金を運用して、大災害や緊急事態の救済、その他世界的に人類の福祉に貢献することを目的とする財団です。

LCIF への寄付金は、一人当たり20ドルを目標に活動して下さい。

MJF への寄付金は、有志によりますが何かの記念に各クラブで努力願ひ、一人でも多くの方をお願いしたいと思います。寄付金は1回1,000ドルが単位です。

LCIF の交付金の活用については、クラブが理解を深めると共に、D 地区内から LCIF の助成金を獲得できるアクティビティを申請できるように取り計らって参ります。LCIF については別に各準地区についての目標が課せられています。(別資料)

## 11. 青少年健全育成

### ◎青少年健全育成基金のお願い

各クラブの周年行事が展開されています。金額の多少を問わず周年行事アクティビティの一つとして、青少年健全育成基金への寄付をお願いします。

(ライオンズクエスト)

### ○青少年にライフスキルを

この事業は LCIF の支援を受けて実施しております。336-D地区の重点事業として取り組み、今年度で7年になります。教師と生徒がともに模索しながら考え、思春期の青少年少女に生きる力(ライフスキル)を身につけさせる教育のプログラムを支援することを目的にしています。われわれメンバーが教えるのではなく、特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラムの普及活動を通じて、その指導のための認定講師を派遣する活動の支援です。ライオンズクエスト委員会については別途示します。

(薬物乱用防止)

### ○薬物乱用の低年齢化防止

薬物乱用の低年齢化を防止するために、中学生、高校生を対象に「薬物乱用防止教室」

を展開していきます。またその際、ライオンズクラブ会員による薬物乱用防止教室認定講師の派遣要請があった場合の対応に、認定講師の養成講座講習会を開催します。

## 1 2. 平和ポスターコンテスト

国際平和ポスターコンテストは11歳～13歳の生徒を対象に、毎年ライオンズクラブ国際協会をスポンサーとし実施されます。各ライオンズクラブは、地元の学校又は、青少年組織団体でコンテストをスポンサーすることが出来ます。1つの学校につき、1点の入賞作品が選ばれます。各学校コンテストの入賞作品は次のレベルの審査（地区、複合地区、国際のレベル）に進みます。地区ガバナーは複合レベルでのコンテストに出品するために、地区の最優秀作品を複合地区協議会に提出します。国際入賞者はライオンズ誌及び国際協会のウェブサイトで発表されます。各学校へのPRを宜しくお願い致します。

## 1 3. 奉仕デーの活用

10月8日は世界ライオンズ奉仕デー（World Lions Service Day）です。各クラブでは地域の方々（ボランティア団体等）と協議し、事業や奉仕活動を積極的に推進して下さい。今年も、1クラブ\$100以上の献金を実施下さるよう希望します。

## 1 4. 熊本・東日本大震災の復旧・復興

昨年に引き続き、被災者の方々へのライオンズクラブとして支援の環を広げ、一日でも早く復興が可能になる様、地域ぐるみのチャリティー等のアクティビティを推進していただきたい。

## 1 5. その他

○ライオンズクラブ100周年に関してのアクティビティ（別紙を配布予定）目標を達成するため、各クラブ My LCI を活用して下さい。

○東京オリンピックへの協賛について（別資料を配布予定）



## クラブ運営について

### ライオンズクラブの基本的な在り方

多くの団体は、役員や一部の執行役によって通常その会の運営が実施されている場合が多いようですが、ライオンズクラブは会員全員によって運営されるのが特徴です。

会員全員が平等の権利と義務を持って「全員参加」と「民主的ルール」によって運営されます。

近々必携が改定され、定期的な例会出席の項はなくなる予定ですが、又、*yor club yor way* という方針も打ち出されています。

しかし、我々 336-D 地区の各クラブに限りませんが、例会・そしてその出席を軽視するものでは決してありません。

例会・理事会・委員会はクラブ運営の正式機関としてそれぞれの役割を持ち、いずれも不可分な関係にあります。各クラブがそれぞれ奉仕活動がしやすいように工夫が必要です。

### 例会の在り方

例会はクラブの最高決議機関です。

国際協会では、例会についても、会員が集まる方法について、例えばインターネット上で集まる。あるいは、時間に定めなく集まる。等々さまざまなクラブを紹介しています。

ただ、例会のあり方は様々であるといっても、現状 336-D 地区に現在あるクラブでは、従来の例会はクラブの最高決定機関です。

新しい企画や内規の制定、改廃をはじめ理事会で決定されたことでも、例会の承認なしには実行できないことが多くあります。

現在のクラブにとって例会出席は会員の重要な義務であり、例会の欠席は会員としての「権利放棄」に繋がります。

例会の実出席率はクラブ活性化のバロメーターとなります。例会を楽しく意義あるものにする努力が各会員に課せられているといっても過言ではないと思います。

例会の不活性なクラブから、ドロップ会員が多発している状態を直視する必要があります。実出席が難しい場合もありますので、その際は「出席メイクアップ規則」を忠実に守り、出席率の向上に努力しましょう。

メイクアップは所属クラブだけでなく、ゾーンやリジョン・姉妹・ブラザークラブの例会も許容し、会員同士の研鑽の役に資するよう改革して参りましょう。

その上で各クラブが実情に応じた例会に変化していくことは止めるものではありません。要はクラブの目的である、その地域に必要とされる奉仕をいかに多くのメンバーと共に実行できるかにかかっています。

さらにクラブ支部については前記したとおりです。

## クラブ周年記念について

MD336 運営マニュアルに、クラブ周年記念について提言があり、その趣旨として「クラブ運営の活性化と、会費の値上げ抑制を図ることを主眼」に、周年記念会合と周年記念事業の在り方について、5年刻みの記念式典は、チャーターナイトとは全く趣を異とするものであることから自粛すべきである、とあります。

しかし、多くのクラブで5年または10年区切りで周年記念大会が開催され、クラブ活性化に資する現状があることは周知の事実であります。

今年度も50周年を迎えるクラブが多数あります。

日本人の価値観が大変貌している現在、50周年を過ぎたクラブから率先して、提言に沿って運営されるのも一つの選択肢ではないでしょうか。

「チャーター・ナイト記念会を毎年開催し、ライオンズの目的・道徳綱領及び本クラブの歴史を特に強調する」とクラブ附則に定められています。

クラブ周年記念の会合を開催する本旨は、クラブが毎年開催すべきチャーター・ナイト記念の目的をいっそう強調することになるのではないかと思います。

25年・50年はシルバー・ゴールド・アニバーサリーであることから、国際会長を招待することもできる重要な式典ですので意義ある企画を行ってほしいと思います。

本年度のクラブ周年行事への地区ガバナーに対する出席要請につきましては、出来る限り対応して参りたいと思っております。各クラブのご理解を得たいと思います。

地区周年行事の際はぜひ、青少年健全育成基金への拠出をお願いいたします。

2016～2017年 委員会構成・略称表

委員会名	所属委員会
P R 情 報 委 員 会	PR・ライオンズ情報・獅子吼・IT・会則・ 大会参加・プロトコール・アラート
G M T 委 員 会 (GMT コーディネーター) (家族及び女性コーディネーター)	会員・会員増強・会則・女性及び家族会員増強・ エクステンション・運営マニュアル・会員維持
G L T 委 員 会 (GLT コーディネーター)	指導力育成・百周年記念・ レオ・ライオネス
国 際 関 係 委 員 会 (LCIF コーディネーター)	国際関係・LCIF・MJF
Y C E 委 員 会	YE・キャンプ
保健福祉環境保全委員会	献眼・献血・視聴覚言語障がい者福祉・ 環境保全・保健福祉・フォトコンテスト
青少年健全育成委員会	薬物乱用防止・児童福祉・レオ・ ライオンズクエスト・平和ポスター

※100周年記念委員会はガバナーチームと共に行動します。

# 地区の組織と役員・委員の任務について

## (1)目的

地区内のライオンズクラブの融和協調を図ると共に、ライオニズムを高揚するためにライオンズクラブ国際協会の基本的活動方針に従い、地区内の各クラブの運営を円滑ならしめることを目的とする。

## (2)キャビネット構成員

- 1) 地区ガバナー、前地区ガバナー、第1・第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン
- 2) 地区ガバナーが必要と認めて任命した下記委員長  
PR・情報委員長、GMT委員長、GLT委員長、国際関係委員長、YCE委員長、保健福祉環境保全委員長、青少年健全育成委員長
- 3) その他地区ガバナーの任命する委員長、副幹事、副会計  
(注) 複合地区会則第17条・4により前年度の地区YCE委員長は、必要があれば8月31日まで、翌年度の地区ガバナーによって任命され実務に当たらせる。地区YCE委員についても同じ。

### (A) 地区ガバナー候補者の資格 (国際付則第9条4項)

- (a) 所属単一地区または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- (b) 所属クラブ、あるいは所属単一地区または準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
- (c) 現在、所属地区の第1副地区ガバナーとして、その任に当たっている者でなければならない。
- (d) 現第1副地区ガバナーが地区ガバナー選挙に立候補しない場合にのみ、あるいは地区大会の時点で第1副地区ガバナー職が空席である場合のみ、本附則または会則にさだめられている通り第2副地区ガバナーの条件を満たしている場合、更に地区キャビネット構成員として現在務めているかまたは1年を務めた場合は、本条(c)項の条件をみたしているものとする。

(注) 地区ガバナーの選挙については国際付則第9条6項(a)の規定による。(1997年国際大会において改訂)

### (B) 副地区ガバナー候補者の資格 (国際付則9条6項b、c)

- (a) 所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- (b) 所属クラブの推薦、あるいは所属単一もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦を受け、
- (c) 副地区ガバナー就任の時点で
  - (1) クラブ会長を全期、または半期以上、そして理事会構成員として2年以上を務め、かつ、
  - (2) ゾーン・チェアパーソンまたはリジョン・チェアパーソン、あ

- るいはキャビネット幹事および（または）会計としても全期または半期以上務めたものでなければならない。
- (3) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

### (3)機能

- 1) 地区キャビネットは前記 1) に示される構成員をもって構成される。  
キャビネット構成員は地区役員となる。  
前地区ガバナー、第1・第2副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は、地区ガバナーによって任命される。  
地区委員は、必要に応じて地区ガバナーによって任命される。
- 2) キャビネットは地区運営方針を協議決定し、実行する。
- 3) キャビネットの会議は複合地区会則の規定によって開かれる。
- 4) 地区ガバナーは、キャビネット会議を主宰する。  
定例会議は年4回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議では、地区ガバナー、前地区ガバナー、第1第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネットと会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン及び地区委員長に投票権が与えられる。  
336-D地区においては、第1回と第4回はキャビネット所在地、第2回は前キャビネット所在地、第3回は次期キャビネット候補地において開催する慣習となっている。
- 5) 地区名誉顧問会  
従前の例により、地区ガバナーが委嘱した名誉顧問をもって構成する。  
常任名誉顧問は原則として地区名誉顧問会議長を含め、直近地区ガバナーを務めた4名とする。  
常任名誉顧問は主として、キャビネット会議の議事に関して地区ガバナーの諮問に答え、地区行政の円滑化を図るため、必要に応じて常任名誉顧問会を開催する。元国際理事は相談役として会議に出席する。
- 6) 地区ガバナーはキャビネット構成員以外の者を、必要に応じて会議に招集し諮問することができる。

### ①リジョン・チェアパーソン（国際附則第10条第2項）

- リジョン・チェアパーソン(以下RCという)は地区ガバナーの指導監督のもとに、リジョンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次の通りである。
- (イ) 本協会の目的を推進する。
  - (ロ) リジョン内のゾーン・チェアパーソンの活動並びに地区ガバナーの任命する地区委員長活動を監督する。
  - (ハ) 地区内における新クラブ結成及びクラブ強化を含む会員増強に積極的役割を果たす。
  - (ニ) クラブ・レベルにおける指導者育成に積極的役割を果たす。
  - (ホ) 地区役員必携及びその他指示に従い、国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

## ②ゾーン・チェアパーソン（国際附則第10条第2項）

ゾーン・チェアパーソン（以下Z Cという）は地区ガバナー及びR Cの指導監督のもとに、ゾーンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次の通りである。

- (イ) 本協会の目的を推進する。
- (ロ) ゾーン内における地区ガバナー諮問委員会委員長を務め、同委員長として同委員会の定例会議を招集する。少なくとも3回主宰する。会議後5日以内に報告書を国際協会、地区ガバナー、R Cに送付する。
- (ハ) 新クラブ結成を含む会員増強に積極的役割を果たす。必要に応じ、ゾーン内クラブの会長等を集めた会議を開き、R Cに報告し、地区ガバナーに報告書の写しを送る。
- (ニ) 新クラブの結成を含む会員増強に積極的役割を果たす。
- (ホ) 地区役員必携及びその他指示に従い、国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

## ③地区委員長

地区委員長はキャビネットの構成員として、地区ガバナーの指揮のもとに、担当分野の政策立案、推進に当たると共に、キャビネットにおける専門分野のスタッフとして、ガバナーを補佐する。

地区委員長の性格付に伴って、次の点が明確になります。

- (イ) 奉仕作業の実施主体は、単一クラブであり、キャビネットは指導、推進の立場にあります。
- (ロ) 単一クラブとキャビネットを結ぶラインは、リジョンの運営責任者であるR Cとゾーンの運営責任者であるZ Cであります。
- (ハ) 各種委員会の施策推進に当たっては、地区委員長（含地区委員）とR C、Z Cの連携によって行われます。
- (ニ) 従って単一クラブへの指導は、原則としてZ Cを通じて行われます。
- (ホ) 地区委員長は、自ら政策を立案し、キャビネット会議に提案します。決定した事項のクラブへの対応はR C、Z Cのルートを通じるのが本来のあり方です。お互いによく連携し、骨身を惜しまず行動することが大切です。

## ④地区委員

地区委員は、キャビネット構成員に該当しないので、地区役員ではありませんが、地区委員会活動を活発にする重要な役割を担います。

- (イ) 地区委員は各種地区委員会を構成する委員です。従って地区委員長に直属し、その指示を受けます。
- (ロ) 地区委員は担当リジョンを定めて、そのリジョンから任命されるケースが多いようですが、その委員会の各リジョンを担当する役目だという考えは基本的になくした方がよいでしょう。

① 従来の実績

302-W-4

年度	64～65	65～66	67～68	69～70	70～71	73～74	74～75
クラブ	岩国	松江	下関	浜田	徳山	出雲	山口
リジョン	4R	1R	7R	3R	5R	2R	5R

336-D

年度	76～77	77～78	78～79	79～80	80～81	81～82	82～83	83～84	84～85	85～86	86～87
クラブ	萩	下関東	江津	防府	柳井	松江	山陽	徳山東	益田	岩国	下関西
リジョン	6R	7R	3R	5R	4R	1R	6R	5R	3R	4R	7R

年度	87～88	88～89	89～90	90～91	91～92	92～93	93～94	94～95	95～96	96～97	97～98
クラブ	出雲	宇部	下松	松江湖城	柳井	下関響灘	浜田	宇部新川	防府 ゴールデン	出雲中央	岩国錦
リジョン	2R	6R	5R	1R	4R	7R	3R	6R	5R	2R	4R

年度	98～99	99～00	00～01	01～02	02～03	03～04	04～05	05～06	06～07	07～08	08～09
クラブ	松江葵	下関東	宇部ときわ	山口	松江湖城	防府 ゴールデン	浜田亀山	下関	出雲	山陽	山口
リジョン	1R	7R	6R	5R	1R	5R	3R	7R	2R	6R	5R

年度	09～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16
クラブ	東出雲	岩国錦	益田 あけぼの	下関北	松江	萩	松江葵
リジョン	1R	4R	3R	7R	1R	6R	1R

当地区では従来はガバナー選出につき、県別を考慮し実施してきたが、リジョンによるローテーションがより合理的であるので、将来の予定を次の如く設定した。

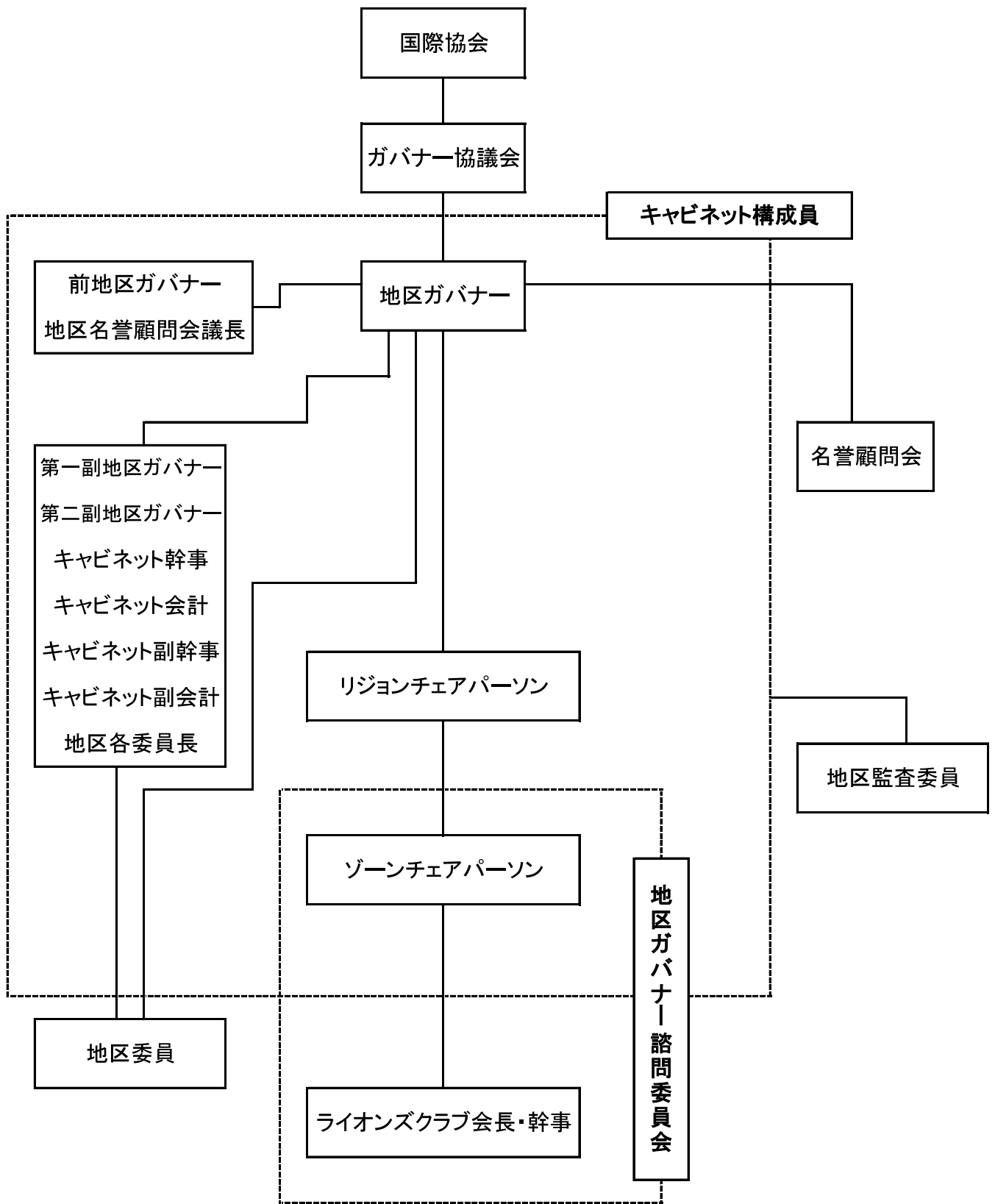
☆リジョン・ローテーション

島根県	3R	2R	1R	3R
山口県	4R	7R	6R	5R

② 今後のローテーション(案)

年度	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24	24～25
リジョン	4R	3R	5R	2R	7R	1R	6R	3R	4R

# ライオンズクラブ組織





ライオンズクラブ国際協会 336-D地区組織表(2016~2017)

元国際理事 谷野 徹	下関西	常任	
地区名譽顧問会議長 矢野 敏明	松江葵		
336複合地区ガバナー協議会 永井 義夫	浜田		
元地区ガバナー 竹下 雅雄	萩	常任	
元地区ガバナー 坂根 勝	松江	常任	
元地区ガバナー 岡村 聖爾	下関北	常任	
元地区ガバナー 大羽 義定	森田		
元地区ガバナー 光貞 正明	あけぼの		
元地区ガバナー 組 謙 晶	岩国錦		
元地区ガバナー 村上 昭治	東出雲		
元地区ガバナー 山根 健	山 鶴		
元地区ガバナー 山下 薫	山 口		
元地区ガバナー 前村 隆規	宇部とさわ		
元地区ガバナー 岩田 篤明	松江葵		
元地区ガバナー 浜村 悟郎	岩国錦		
元地区ガバナー 加藤 哲夫	出雲中央		
元地区ガバナー 緒方 正澄	宇部新川		
元地区ガバナー 向 正美	浜 田		

地区名譽顧問	藤 本 幸 嗣	岩 国 桜
--------	---------	-------

地区名譽顧問	矢野 敏明	松江葵
地区名譽顧問	秋田千鶴	浜田
地区名譽顧問	小林 嘉明	光
地区名譽顧問	金田 寛治	岩国錦
地区名譽顧問	米谷 靖夫	浜田
地区名譽顧問	矢野 匡亮	由宇
地区名譽顧問	八百屋 仁	岩国
地区名譽顧問	山口 秀敏	岩国錦
地区名譽顧問	田村 敬治	柳井
地区名譽顧問	伊藤 秀行	大島
地区名譽顧問	森 久子	平生
地区名譽顧問	藤元 良哲	大島中央
地区名譽顧問	菊川 尊樹	岩国桜
地区名譽顧問	西本 克也	大島 オレンジ
地区名譽顧問	吉村 尊雄	由宇
地区名譽顧問	平野 裕	松江葵
地区名譽顧問	坂根 守	多伎町
地区名譽顧問	永見 勝徳	益田 あけぼの
地区名譽顧問	上山 明德	柳井
地区名譽顧問	高田 清	徳山東
地区名譽顧問	森田 哲弘	田万川
地区名譽顧問	津畑 昭浩	下関東

地区名譽顧問	安永 一充	岩国桜
地区名譽顧問	末田 幸一	岩国
地区名譽顧問	釘本 博文	岩国錦
地区名譽顧問	江先 和也	岩国桜
地区名譽顧問	石原 真	由宇
地区名譽顧問	大野 信代	柳井
地区名譽顧問	三谷 敏雄	大島
地区名譽顧問	山本 和俊	田布施
地区名譽顧問	前田 明教	柳井中央
地区名譽顧問	田中 勝志	大島 オレンジ
地区名譽顧問	石田 篤樹	平生
地区名譽顧問	藤元 良哲	大島中央

元国際理事 谷野 徹	下関西	常任	
地区名譽顧問会議長 矢野 敏明	松江葵		
336複合地区ガバナー協議会 永井 義夫	浜田		
元地区ガバナー 竹下 雅雄	萩	常任	
元地区ガバナー 坂根 勝	松江	常任	
元地区ガバナー 岡村 聖爾	下関北	常任	
元地区ガバナー 大羽 義定	森田		
元地区ガバナー 光貞 正明	岩国錦		
元地区ガバナー 組 謙 晶	東出雲		
元地区ガバナー 村上 昭治	山 鶴		
元地区ガバナー 山根 健	山 口		
元地区ガバナー 前村 隆規	宇部とさわ		
元地区ガバナー 岩田 篤明	松江葵		
元地区ガバナー 浜村 悟郎	岩国錦		
元地区ガバナー 加藤 哲夫	出雲中央		
元地区ガバナー 緒方 正澄	宇部新川		
元地区ガバナー 向 正美	浜 田		

地区名譽顧問	藤 本 幸 嗣	岩 国 桜
--------	---------	-------

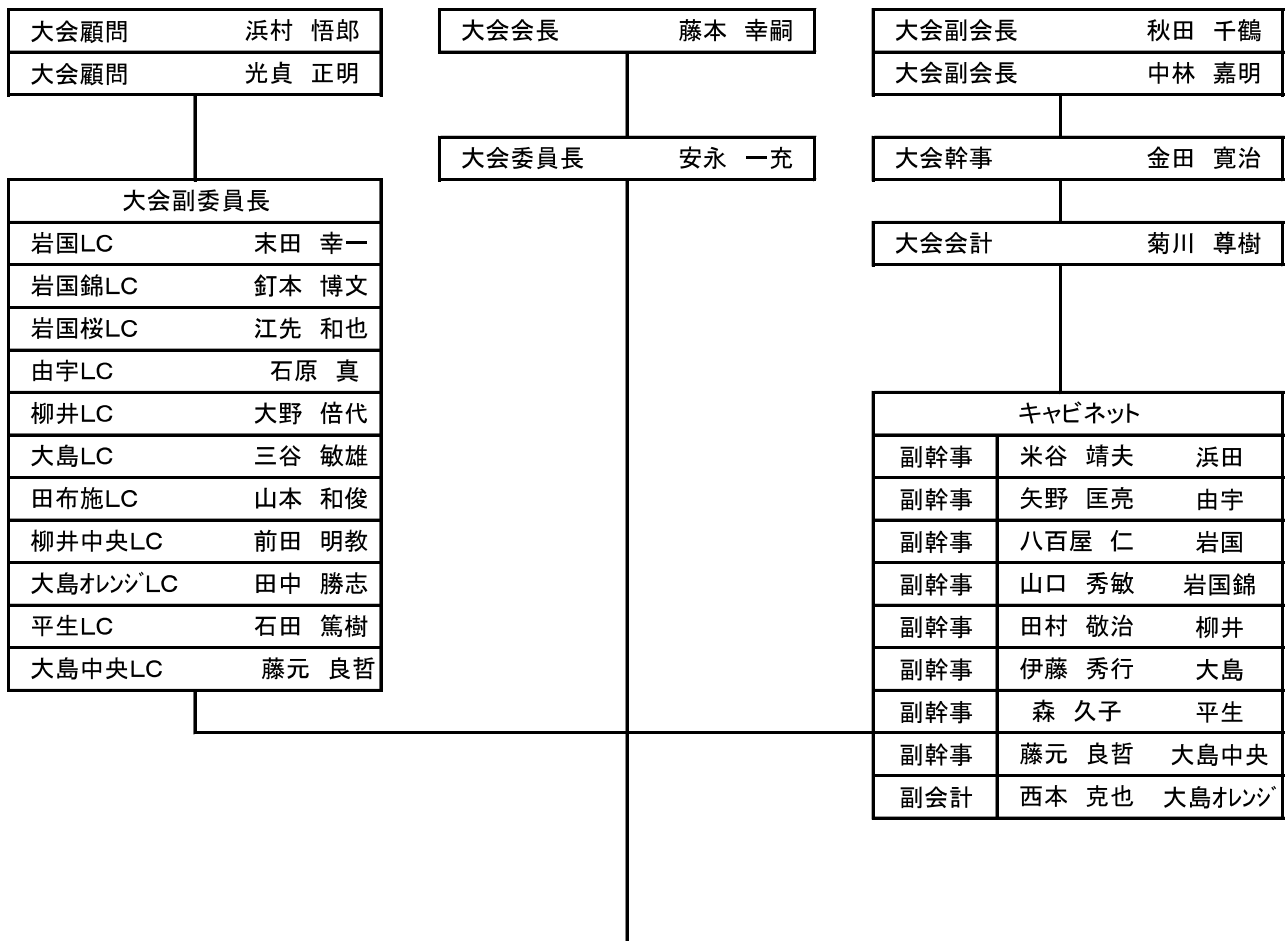
地区名譽顧問	矢野 敏明	松江葵
地区名譽顧問	秋田千鶴	浜田
地区名譽顧問	小林 嘉明	光
地区名譽顧問	金田 寛治	岩国錦
地区名譽顧問	米谷 靖夫	浜田
地区名譽顧問	矢野 匡亮	由宇
地区名譽顧問	八百屋 仁	岩国
地区名譽顧問	山口 秀敏	岩国錦
地区名譽顧問	田村 敬治	柳井
地区名譽顧問	伊藤 秀行	大島
地区名譽顧問	森 久子	平生
地区名譽顧問	藤元 良哲	大島中央
地区名譽顧問	菊川 尊樹	岩国桜
地区名譽顧問	西本 克也	大島 オレンジ
地区名譽顧問	吉村 尊雄	由宇
地区名譽顧問	平野 裕	松江葵
地区名譽顧問	坂根 守	多伎町
地区名譽顧問	永見 勝徳	益田 あけぼの
地区名譽顧問	上山 明德	柳井
地区名譽顧問	高田 清	徳山東
地区名譽顧問	森田 哲弘	田万川
地区名譽顧問	津畑 昭浩	下関東

地区名譽顧問	安永 一充	岩国桜
地区名譽顧問	末田 幸一	岩国
地区名譽顧問	釘本 博文	岩国錦
地区名譽顧問	江先 和也	岩国桜
地区名譽顧問	石原 真	由宇
地区名譽顧問	大野 信代	柳井
地区名譽顧問	三谷 敏雄	大島
地区名譽顧問	山本 和俊	田布施
地区名譽顧問	前田 明教	柳井中央
地区名譽顧問	田中 勝志	大島 オレンジ
地区名譽顧問	石田 篤樹	平生
地区名譽顧問	藤元 良哲	大島中央

日本ライオンズ連絡事務所  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15  
JOTOビル9階  
TEL (03) 6262-1263 FAX (03) 3241-4388  
336複合地区ガバナー協議会  
〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井2-1-18  
ORIX岡山下石井ビル9F  
TEL (086) 234-0695 FAX (086) 234-0495  
336-D地区キヤピネット事務局  
〒740-0022 山口県岩国市山手町1-11-12  
山手ビル201  
TEL (0827) 93-4128 FAX (0827) 93-2724  
ライオンズクラブ国際協会日本事務所  
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17  
TCCビル6F16号 私書箱445  
TEL (03) 3494-2931 FAX (03) 3494-2933

## 年次大会運営組織（案）



大会運営局				
局	担当項目	担当クラブ	局長	副局長
1局	代議員	岩国錦LC 平生LC		
2局	式典 表彰 総合進行	岩国桜LC 柳井LC		
3局	大会誌 PR 広報	由宇LC		
4局	案内 登録 受付 接待 記念品	岩国LC		
5局	宿泊	岩国LC		
6局	協賛出展 救護	岩国錦LC 岩国桜LC		
7局	記念撮影	柳井中央LC		
8局	交通 駐車場	大島LC 大島中央LC 大島オレンジLC		
9局	ゴルフ	由宇LC 田布施LC		

# 地区役員の連携活動について

(1) 新旧役員引継ぎ

口頭での引継ぎは避け、必ず資料作成し書面で引き継ぎをしてください。

(2) 地区役員年間活動計画(案)の提出

1) 各地区委員は、各リジョンが担当エリアであることを踏まえて、地区委員長の方針・計画に沿って、各RC、ZCとの連携活動を重視して年間活動計画書(案)を、地区委員長と担当のZCに提出してください。

提出期限 6月10日(金)

2) 地区委員長は、当該リジョンの各クラブに浸透させるために、年間事業活動計画書(案)上記を踏まえて立案し、RCとガバナーに提出してください。

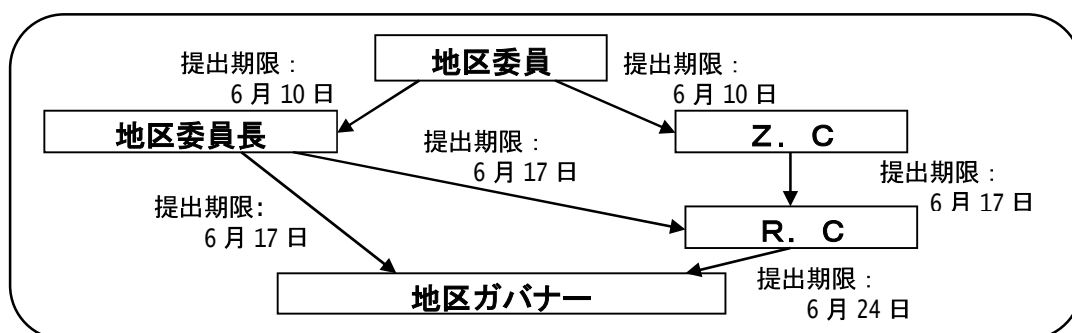
提出期限 6月17日(金)

3) ZCは、当該リジョンの各クラブに浸透させるために、地区委員・委員長と連携して、上記を踏まえた年間活動方針計画(案)を担当のRCに提出して下さい。

提出期限 6月17日(金)

4) RCは、上記を踏まえて年間活動計画書(案)をガバナーに提出してください。

提出期限 6月24日(金)



提出期限 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 年間計画書(案)  
 R                      Z                      役職:                      氏名: \_\_\_\_\_

月 日	事業活動計画 (研修会も含む)	場 所	対 象
( 摘 要 )			

## 336-D地区 リジョン連絡会議ガイドライン

これまでも各リジョンでは、役員連絡会議等の名目で開催されていたとは思いますが、ここにモデルケースとしての、会議のガイドラインを提案いたしましたので、内容をよくご理解の上、運営していただくようお願いいたします。

### (1) 目的

リジョン連絡会議はガバナーの方針に則り、リジョン内の各クラブの円滑な運営と、地区委員会のそれぞれの方針、計画、実施を当該リジョン内へ浸透させることを目的に、報告、連絡、活動報告の検討、決定等を行います。

### (2) 主催者

RCが主催します。

### (3) 出席者

RC及び当該リジョン所属の各ZC・地区委員長・各地区委員及びその他の関係者（地区名誉顧問及び地区役員等）の出席を特に求めてその助言を受けます。

### (4) 会議運営

RCは各ZC・各地区委員会及びそれぞれの方針・計画等について、全員の報告・連絡を重視し、各々について全員が理解を深めるように運営します。  
本会議は年間に4回は最低必要と考えられます。

### (5) 会議内容（参考例）

- 新年度ガバナー地区運営基本方針の確認並びに、年間活動計画（案）の作成・研修会準備・連携活動についての相互連絡・新旧役員の引継ぎ会・その他。
- ガバナー公式訪問準備・第1回諮問委員会準備・クラブ訪問計画・報告・相互連絡・連携活動等・その他。
- 第2回諮問委員会準備・報告・相互連絡・連携活動・その他。
- ガバナーズアワードについての準備・第3回諮問委員会準備・報告・相互連絡・連携活動等・各当初計画の達成・未達成の確認とその対処・その他。
- 次回地区委員推薦決定会議・次期への引継ぎ資料の準備についての報告・相互連絡・連携活動等・その他。
- 新旧役員引継ぎ（引継ぎ・申し送り事項等は、必ず資料作成し、書面で次期担当者へ引き渡す）

種 類	授与基準	対象期間	審査・認定	授与方法
① 総合最優秀クラブ	1クラブ。	2016.3～ 2017.2	キャビネット 選考会議 (各クラブ⇒ZC ⇒RCで申請)	地区年次大会
② エクステンション賞	スポンサークラブ。	2016.3～ 2017.2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
③ 総合優秀クラブ (支部結成クラブ・女性及び 家族会員拡大クラブ) ④⑤⑥ ⑦の内特に活動が顕著なク ラブ	5～7クラブ。	2016.3～ 2017.2	キャビネット 選考会議 (各クラブ⇒ZC ⇒RCで申請)	地区年次大会
④ 会員増強部門 (一人目の会員増強クラブ)	クラブ員純増 5%以上のク ラブ。 5人以上をスポンサーした 個人。	2016.3～ 2017.2	キャビネット 選考会議 (各クラブ⇒ZC⇒ RCで申請)	地区年次大会
⑤ 地域奉仕部門	奉仕活動が効果的な発想で 行われ、且つその成果が地域 社会に多大に貢献したクラブ。 継続的な奉仕活動が地域社 会に受け入れられ顕著な実 績をあげているクラブ。	2016.3～ 2017.2	キャビネット 選考会議 (各クラブ⇒ZC⇒ RCで申請)	地区年次大会
⑥ ICF部門	ICF事業に特に貢献著しい クラブ。	2016.3～ 2017.2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
⑦ PR・IT部門	地域社会に最も効果的なPR を実施したクラブ。	2016.3～ 2017.2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
⑧ 会長・幹事・会計 リーダーシップ賞	マンスリーレポート提出が 期限内に正確に提出される こと、国際会費・地区費が期 限までに納入されること。	2016.3～ 2017.2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
⑨ ガバナー特別功労賞	特に賞揚に値する者。	2016.3～ 2017.2	ガバナー専決	地区年次大会
⑩ 別紙(資料⑨) 国際協会アワード参照	多くのクラブをエクステン ションしたクラブ会長、クラ ブ会員。 多くのメンバーをスポンス したクラブ会員。			

## キャビネット会議 進行 詳細

名誉顧問会 13:30~14:30			
詳細時間	次第	出席者	備考
13:30	1. 開会のことば	元国際理事	
13:35	2. 出席者紹介	地区ガバナー	
13:45	3. 挨拶	第一副地区ガバナー 第二副地区ガバナー	地区ガバナー(5分) 元国際理事(5分)
14:29	4. 議事	地区名誉顧問会議長 ガバナー協議会元議長 地区常任名誉顧問 地区名誉顧問 キャビネット幹事 キャビネット会計 キャビネット副幹事 キャビネット副会計	① キャビネット会議の進行について ② 議事 報告事項 提案事項 ③ その他
14:30	5. 閉会のことば	大会委員長 大会副委員長 ガバナーが認めた者	
休憩			
キャビネット会議 14:45~16:10			
14:45	1. 開会ゴング	元国際理事	
14:46	2. 国旗に敬礼	地区ガバナー	
14:48	3. 国歌・ライオンズクラブの歌斉唱	第一副地区ガバナー	
14:48	4. 336-D 地区物故会員並びに献眼者 に対して黙祷	第二副地区ガバナー	
14:50		地区名誉顧問会議長	
15:00	5. 出席者紹介	ガバナー協議会元議長	
15:00	6. 挨拶	地区常任名誉顧問 地区名誉顧問 キャビネット幹事 キャビネット会計 キャビネット副幹事	地区ガバナー(5分) 元国際理事(5分) 第一副地区ガバナー(5分) 第二副地区ガバナー(5分) 地区名誉顧問会議長(5分)
15:30		キャビネット副会計	
15:35	7. その他	キャビネット副会計	
16:10	8. 議事	大会委員長	
	① 報告事項	大会副委員長	
	② 協議提案事項	RC	
	③ 質疑応答	ZC	
	④ その他	各委員長 各委員 オブザーバー	

詳細時間	次第	出席者	備考
休憩			
各委員会（分科会） 16：30～18：00			
16：30	PR・情報委員会 GMT 委員会 FWT 委員会 GLT 委員会 国際関係委員会 YCE 委員会 保健福祉環境保全委員会	委員長・委員	各委員会別室 ※各委員会担当の副幹事が参加 ※各名誉顧問参加 ※ガバナー・第一・第二参加・その他各委員会参加
17：05	青少年健全育成委員会		
休憩			
17：20	PR・情報委員長報告 GMT コーディネーター報告 FWT コーディネーター報告 GLT コーディネーター報告 国際関係委員長報告 YCE 委員長報告 保健福祉環境保全委員長報告		各委員長 5分
17：59	青少年健全育成委員長報告		
18：00	ガバナー挨拶及び閉会のゴング		
休憩			
18：15 19：30	懇親会		
翌日			
09：00 11：30	任意の委員会を開催する場合は キャビネットで会場を用意する		

## 各 種 会 議 日 程 (案)

1. **キャビネット会議**

第1回	2016年	7月	23日	(土)	岩国市:
第2回	2016年	11月	26日	(土)	松江市:
第3回	2017年	2月	18日	(土)	浜田市:
第4回	2017年	4月	8日	(土)	柳江市:
  
2. **地区名誉顧問会議**

第1回	2016年	4月	23日	(土)	岩国市:
他必要時随時開催					
  
3. **地区常任名誉顧問会議**

第1回	2016年	7月	23日	(土)	岩国市:
第2回	2016年	11月	26日	(土)	松江市:
第3回	2017年	2月	18日	(土)	浜田市:
第4回	2017年	4月	8日	(土)	柳江市:
  
4. **各委員会分科会**

第1回	2016年	7月	23日	(土)	岩国市:
第2回	2016年	11月	26日	(土)	松江市:
第3回	2017年	2月	18日	(土)	浜田市:
第4回	2017年	4月	8日	(土)	柳江市:
  
5. **各種研修会**

随時開催
  
6. **その他**

地区役員・ 委員研修会	2016年	5月	28日	(土)	柳江市:
1～3Rクラブ 3役研修会	2016年	6月	11日	(土)	松江市:
4～7Rクラブ 3役研修会	2016年	6月	18日	(土)	山口市:



## 2016～2017 ガバナー公式訪問予定日程(案)

R	Z	月	日	曜	公式訪問クラブ	ホストクラブ ZC 所属	ZC 氏名
1	1	8	6	土	安来・出雲広瀬・東出雲・ 安来十神・八雲	東出雲	福頼 敏文
	2	8	5	金	松江・松江湖城・大東・宍道 ・鹿島島根・美保関・松江葵・ 隠岐海士	松江	安達 盛二
2	1	8	26	金	出雲・平田・大社・佐田・ 多伎町	大社	神門 貞良
	2	8	27	土	出雲中央・斐川・出雲南・ 出雲レークヒル	斐川	青野 隆一
	3	8	28	日	木次・三刀屋・加茂島根・ 仁多・掛合・赤来・頓原・ 横田	木次	板持 達夫
3	1	9	2	金	大田・石見・邑智大和・ 瑞穂	石見	清水 優文
	2	9	3	土	浜田・江津・益田・浜田亀山 益田あけぼの・金城抱月・ 桜江・浜田マリン	益田	寺井 良徳
4	1	9	8	木	岩国・岩国錦・岩国桜・由宇	岩国桜	片山 原司
	3	9	10	土	柳井・大島・田布施・ 柳井中央・大島オレンジ・ 平生・大島中央	柳井中央	岩政 恭子
5	1	9	16	金	下松・徳山・光・新南陽・ 徳山東・徳山中央・下松中央 ・周南・新南陽若山	下松中央	原田 治夫
	3	9	17	土	防府・防府中央・ 防府ゴールデン	防府	神田 義満
	4	9	18	日	山口・山口西京・山口中央	山口	川久保 賢隆

R	Z	月	日	曜	公式訪問クラブ	ホストクラブ ZC 所属	ZC 氏名
6	1	9	23	金	宇部・宇部ときわ・ 宇部新川・宇部かたばみ・ 宇部サルビア・ 宇部ハーモニー	宇部 かたばみ	山崎 勉
	2	9	24	土	小野田・美祢・山陽・楠	美祢	吉野 一
	3	9	25	日	萩・長門・秋芳・田万川	秋芳	前田 恵右
7	1	9	30	金	下関・下関東・下関西・ 下関長府・下関北・ 下関響灘・下関新下関・ 下関維新	下関維新	福島 清和
	2	10	1	土	豊浦・豊田山口・菊川・ 豊北・下関中央	菊川	西村 文成

日	月	火	水	木	金	土
2016年8月						
	1	2	3	4	5 1R2Z	6 1R1Z
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 2R1Z	27 2R2Z
28 2R3Z	29	30	31	1	2 3R1Z	3 3R2Z
4	5	6	7	8 4R1Z	9	10 4R3Z
11	12	13	14	15	16 5R1Z	17 5R3Z
18 5R4Z	19	20	21	22	23 6R1Z	24 6R2Z
25 6R3Z	26	27	28	29	30 7R1Z	1 7R2Z

2016年9月

2016年10月

## 次期キャビネット 活動計画(案) <2016年2月～2016年10月>

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考	
2	8	火	次期キャビネット事務局開局役員初会合	岩国市	岩国市	
	13	土	第3回キャビネット会議	岩国市	岩国観光ホテル	
	27	土	大社LC認証40周年記念式典	出雲市	大社文化プライスうらら館	
3	13	土	石見LC認証50周年記念式典	邑南町	いこいの村しまね	
	19	土	複合次期5役研修会	松江市	ホテル白鳥	
	20	日				
27	日	下関北LC認証50周年記念式典	下関市	シーモール・パレス		
4	2	土	第4回キャビネット会議	松江市	ホテル宍道湖	
	10	日	斐川LC認証50周年記念式典	出雲市	斐川文化会館	
	10	日	安来十神LC認証40周年記念式典	安来市	安来市民体育館	
	10	日	防府LC認証55周年記念式典	防府市		
	16	土	第62回地区年次大会	松江市	くにびきメッセ	
	17	日				
23	土	地区名誉顧問会議	岩国市	岩国観光ホテル		
5	14	土	第62回複合地区年次大会	松江市	くにびきメッセ	
	15	日				
	28	土	次期地区役員・委員研修会	柳井市	アニバーサリーステージ「ベルゼ」	
6	11	土	次期クラブ3役研修会	1～3R	松江市	ホテル宍道湖
	18	土		4～7R	山口市	山口県セミナーパーク
	24	金	第99回LC国際大会	開会式	福岡市	マリンメッセ福岡／福岡国際会議場他
	28	火		閉会式		
7	23	土	第1回地区名誉顧問会議・キャビネット会議	岩国市	岩国観光ホテル	
	30	土	第1回複合地区ガバナー協議会	琴平町	ことひら温泉琴参閣	
8	5	金	ガバナー公式訪問	1R 2Z		
	6	土		1R 1Z		
	26	金		2R 1Z		
	27	土		2R 2Z		
	28	日		2R 3Z		
9	2	金		3R 1Z		
	3	土		3R 2Z		
	8	木		4R 1Z		
	10	土		4R 3Z		
	16	金		5R 1Z		
	17	土		5R 3Z		
	18	日		5R 4Z		
	23	金		6R 1Z		
	24	土		6R 2Z		
	25	日		6R 3Z		
10	30	金	7R 1Z			
	1	土	7R 2Z			
	2	日	横田LC認証10周年記念大会	出雲町	横田コミュニティセンター	
	29	土	第2回複合地区ガバナー協議会	竹原市		
	未定		安来LC結成55周年	安来市	夢ランドしらさぎ	

## 次期キャビネット 活動計画(案) 《2016年11月～2017年7月》

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
11	10	木	第55回OSEALフォーラム	香港	
	13	日			
	20	日	益田LC認証55周年記念大会及び記念事業	益田市	島根県芸術文化センター「グラントワ」
	20	日	出雲南LC結成40周年記念式典	出雲市	出雲ロイヤルホテル
	23	水	田布施LC認証50周年	田布施町	田布施町商工会「サリジエ」
	26	土	第2回地区名誉顧問会議・キャビネット会議	松江市	ホテル宍道湖
12	4	日	豊北LC認証40周年記念式典	豊北町	ホテル西長門リゾート
	11	日	三刀屋LC50周年記念式典	雲南市	三刀屋文化体育館「アスパル」
1	22	日	加茂島根LC認証50周年記念式典	雲南市	加茂文化ホール「ラメル」
	28	土	第3回複合地区ガバナー協議会	岩国市	岩国観光ホテル
2	18	土	第3回地区名誉顧問会議・キャビネット会議	浜田市	浜田ワシントンホテルプラザ
	19	日	下関中央LC認証20周年記念大会式典・祝宴	下関市	ノートルダム下関 (旧・グランプラスセント・ウァレンティン) (仮)
3	12	日	下関新下関LC認証30周年記念大会	下関市	マリアージュ下関
	19	日	瑞穂LC認証20周年	邑南町	いこいの村しまね
	25	土	複合次期5役研修会	岡山市	
	26	日			
4	8	土	第4回地区名誉顧問会議・キャビネット会議	柳井市	アニバーサリーステージ「ベルゼ」
	16	日	松江葵LC認証30周年記念式典	松江市	ホテル一畑
	22	土	第63回地区年次大会	岩国市	岩国観光ホテル
5	13	土	第63回336複合地区年次大会	呉市	会場未定
	14	日			
7	30	金	第100回LC国際大会	シカゴ	
	1	土			
	2	日			
	3	月			

※ 豊浦LC認証55周年記念式典予定あり 場所、開催日未定

# キャビネット業務分担表

分担表①

役職	幹事	会計	副幹事	副幹事
	金田 寛 治	菊川 尊 樹	米谷 靖 夫	矢野 匡 亮
所属LC	岩国錦	岩国桜	浜田	由宇
関係委員会	全般	全般	全般	全般
分担する業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区運営全般の統括</li> <li>●キャビネット事務局の運営管理</li> <li>●地区年間行事計画の作成</li> <li>●名誉顧問、RZ、ZC会議に関する業務</li> <li>●各種会議、委員会、研修会等の担当副幹事の指導</li> <li>●地区役員研修会に関する業務</li> <li>●地区組織表作成業務の担当副幹事の指導</li> <li>●キャビネット構成員、名誉顧問、クラブ三役の名簿作成業務の準備等の担当副幹事の指導</li> <li>●マンスリーレポートの点検、指導</li> <li>●審査、表彰決定の作成</li> <li>●諮問委員会関係</li> <li>●クラブ周年に関する業務</li> <li>●文書の発信</li> <li>●キャビネット局内会議の連絡</li> </ul> <p>※複合地区運営委員 ※次年度 国際関係委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区予算、決算関係業務の統括</li> <li>●事務局会計業務の統括</li> <li>●特別会計文書の発送</li> <li>●各クラブの財政状況の把握</li> <li>●各クラブ出納事務の指導</li> <li>●旅費、慶弔の出納業務</li> <li>●地区ガバナー経費の請求</li> <li>●地区年次大会会計の業務</li> <li>●全ての拠出金の出納業務</li> <li>●地区監査委員との連絡業務</li> </ul> <p>※2年後年度から 2年間地区会計監査委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次期キャビネット立ち上げに向けて幹事、会計等の研修</li> <li>●現キャビネットの幹事補佐</li> <li>●会員増強、エクステンションに関する情報収集</li> <li>●LCIF・MJFに関する啓蒙活動</li> <li>●YCE事業の継承活動</li> <li>●献眼・献血に関する啓蒙活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幹事の全ての業務補佐</li> <li>●各種会議資料作成の補佐、議事録管理</li> <li>●キャビネット役員の行事参加の要請と確認に関する業務</li> <li>●マンスリーレポートの点検及び集計</li> <li>●各担当委員会外の会議等の案内、出欠(宿泊)の確認に関する業務</li> </ul>
協力業務	<p>《幹事以下全員が協力する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全ての行事計画に関する業務</li> <li>●予算案に関する業務</li> <li>●公式訪問に関する業務</li> <li>●キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成・準備に関する一切の業務</li> <li>●地区年次大会、代議員会に関する一切の業務</li> <li>●その他必要に応じて全員で協力体制の構築に関する業務</li> <li>●協力局内会議連絡調整、点検の協議を行う協力体制の構築</li> <li>●国際大会、OSEALの代議員の出席勧奨と督励</li> </ul>			

分担表②

役職	副幹事 八百屋 仁	副幹事 森 久子	副幹事 藤元 良哲	副幹事 山口 秀敏
所属LC	岩 国	平生	大島中央	岩国錦
関係委員会	PR・情報	GMT GLT FWT	国際関係  LCIF	YCE
分担する業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担当委員会と連絡を密接にとり委員長を補佐し活動の推進を図る</li> <li>●地区組織表作成業務</li> <li>●名誉顧問、キャビネット構成委員、クラブ三役の名簿作成業務</li> <li>●地区大会誌の発行に際し大会委員会の補佐</li> <li>●担当会議等の指導 及び案内、出席者の確認</li> <li>●キャビネット事務局ニュース作成業務</li> <li>●獅子吼発行に際し編集委員の指導、監督業務</li> <li>●報道機関への連絡と取材対応</li> <li>●各クラブのIT化への指導</li> <li>●キャビネットHP立ち上げと内容の更新業務</li> <li>●ライオンズクラブ国際協会のEMMRとのリンク業務</li> <li>●アラート委員会と密接な連絡をとる</li> <li>●マンスリーレポート申請のペーパーレス化の推進業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担当委員会と連絡を密接にとり委員長を補佐し活動の推進を図る</li> <li>●会議、研修等の資料作成、議事録の作成</li> <li>●担当委員会の会議等の案内状送付、出欠(宿泊)の確認に関する業務 及び会議等の会場の手配、設営に関する業務</li> <li>★GMT</li> <li>●GMTに関する複合地区ガバナー協議会 及び地区委員長の業務補佐</li> <li>●会員拡大、退会防止へ積極的指導の業務</li> <li>●家族会員、女性会員に関する業務</li> <li>●会則、運営マニュアルの徹底</li> <li>★GLT</li> <li>●GLTに関する複合地区ガバナー協議会 及び地区委員長の業務補佐</li> <li>●指導力向上に関する業務補佐</li> <li>●会則、運営マニュアルの徹底</li> <li>★FWT</li> <li>●家族会員増強に関する業務補佐</li> <li>●女性会員増強に関する業務補佐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担当委員会と連絡を密接にとり委員長を補佐し活動の推進を図る</li> <li>●各クラブのアクティビティ等の全ての集計、資料管理に関する業務</li> <li>●国際関係、LCIF、MJFに関する業務 及び集計</li> <li>●緊急援助支援金申請に関する業務</li> <li>●会議、研修等の資料作成、議事録の作成 及び会議等の案内状送付、出欠(宿泊)の確認業務</li> <li>●担当委員会の会議等の会場の手配、設営に関する業務</li> <li>●その他、国際関係に関する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担当委員会と連絡を密接にとり委員長を補佐し活動の推進を図る</li> <li>●会議、研修等の資料作成、議事録の作成</li> <li>●担当委員会の会議等の案内状送付、出欠(宿泊)の確認に関する業務 及び会議等の会場の手配、設営に関する業務</li> <li>●YCEの計画立案の補助業務 及び啓蒙活動の指導</li> <li>●派遣、受入の旅程、336受入窓口調整業務</li> <li>●YE生オリエンテーリングの業務補佐</li> </ul>
協力業務	<p>《幹事以下全員が協力する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全ての行事計画に関する業務</li> <li>●予算案に関する業務</li> <li>●公式訪問に関する業務</li> <li>●キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成・準備に関する一切の業務</li> <li>●地区年次大会、代議員会に関する一切の業務</li> <li>●その他必要に応じて全員で協力体制の構築に関する業務</li> <li>●協力局内会議連絡調整、点検の協議を行う協力体制の構築</li> <li>●国際大会、OSEALの代議員の出席勧奨と督励</li> </ul>			

分担表③

役職	副幹事	副幹事	副会計	大会委員長
	伊藤 秀行	田村 敬治	西本 克也	安永 一充
所属LC	大島	柳井	大島オレンジ	岩国桜
関係委員会	保健福祉環境保全 青少年健全育成	100周年記念事業 年次大会	会計全般	年次大会
分担する業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担当委員会と連絡を密接にとり委員長を補佐し活動の推進を図る</li> <li>●会議、研修等の資料作成、議事録の作成及び会議等の案内状送付、出欠、宿泊の確認業務</li> <li>●会議等の会場の手配及び設営に関する業務</li> <li>★保健福祉環境保全委員会</li> <li>●献血、献血、視覚障害福祉、聴覚、言語、精神障害、環境保全に関する業務</li> <li>★青少年健全育成に関する業務</li> <li>●青少年健全育成に関する業務</li> <li>●児童福祉に関する業務</li> <li>●ライオンズクエストに関する業務</li> <li>●レオクラブに関する業務</li> <li>●薬物乱用防止に関する業務</li> <li>●平和ポスターに関する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●100周年はガバナーチームと共に行動</li> <li>●年次大会に関する大会委員長業務の補佐</li> <li>●各種会議の会場準備、設営の責任者</li> <li>●各種会議の記録写真係り</li> <li>●その他幹事が要望する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区運営に関する会計補佐</li> <li>●地区会計予算、決算書の作成補佐</li> <li>●地区会計の出納に関する業務補佐</li> <li>●地区会計月別決算書の作成補佐</li> <li>●各特別会計文書の作成、発送業務補佐</li> <li>●地区ガバナー経費の請求業務補佐</li> <li>●旅費、慶弔費の出納業務補佐</li> <li>●年次大会会計に関する業務補佐</li> <li>※年次大会会計の予算、決算書の作成業務補佐</li> <li>※年次大会会計の出納に関する業務補佐</li> <li>●地区ガバナーバッジ、バナー等資産に関する管理業務補佐</li> <li>●その他 全ての出納等に関する業務補佐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区年次大会の統括総責任者</li> <li>●地区年次大会の計画、立案業務</li> <li>※年次大会運営組織の結成</li> <li>●前年度年次大会で開催予告、PR、参加要請等の案内挨拶</li> <li>●年次大会当日の歓迎挨拶</li> </ul>
協力業務	<p>《幹事以下全員が協力する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全ての行事計画に関する業務</li> <li>●予算案に関する業務</li> <li>●公式訪問に関する業務</li> <li>●キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成・準備に関する一切の業務</li> <li>●地区年次大会、代議員会に関する一切の業務</li> <li>●その他必要に応じて全員で協力体制の構築に関する業務</li> <li>●協力局内会議連絡調整、点検の協議を行う協力体制の構築</li> <li>●国際大会、OSEALの代議員の出席勧奨と督励</li> </ul>			

## 取引銀行について

2016~2017年 336-D 地区キャビネット事務局の取引銀行は次の通りとする

請 求 項 目	納 入 先
地区運営費	山口銀行 川下支店 普通預金 No. 5036705 ライオンズクラブ国際協会 336D 地区 キャビネット事務局 運営費会計 菊川 尊樹(キクガワ タカキ)
地区大会費	山口銀行 川下支店 普通預金 No. 5039612 ライオンズクラブ国際協会 336D 地区 キャビネット事務局 地区年次大会会計 菊川 尊樹(キクガワ タカキ)
緊急積立金特別会計	山口銀行 川下支店 普通預金 No. 5038037 ライオンズクラブ国際協会 336D 地区 キャビネット事務局 緊急積立金特別会計 菊川 尊樹(キクガワ タカキ)
青少年育成基金特別会計	山口銀行 川下支店 普通預金 No. 5038013 ライオンズクラブ国際協会 336D 地区 キャビネット事務局 青少年育成基金特別会計 菊川 尊樹(キクガワ タカキ)
ライオンズクエスト 支援基金特別会計	山口銀行 川下支店 普通預金 No. 5038020 ライオンズクラブ国際協会 336D 地区 キャビネット事務局 ライオンズクエスト支援基金特別会計 菊川 尊樹(キクガワ タカキ)
ライオンズクエスト 拡大事業会計	山口銀行 川下支店 普通預金 No. 5038006 ライオンズクラブ国際協会 336D 地区 キャビネット事務局 ライオンズクエスト拡大事業会計 菊川 尊樹(キクガワ タカ キ)

キャビネット幹事・キャビネット会計の担保は免除する。



## 任務の代行(案)

1. 地区ガバナー欠席の場合の任務代行は次の通りとする。

(1) 第一副地区ガバナー	秋田 千鶴
(2) 第二副地区ガバナー	中林 嘉明
(3) 地区常任名誉顧問会議長	矢野 敏明
(4) 地区常任名誉顧問	竹下 雅雄
(5) 地区常任名誉顧問	坂根 勝
(6) キャビネット幹事	金田 寛治
(7) キャビネット会計	菊川 尊樹
(8) 各リジョンチェアパーソン	

2. リジョンチェアパーソンの事故のある時の任務代行は次のとおりとする。

(1) リジョン内のゾーンチェアパーソン会議で決定する。

3. ゾーンチェアパーソンの事故のあるときの任務の代行は次のとおりとする。

(1) ゾーンチェアパーソンの所属するクラブの会長とリジョンチェアパーソンが協議のうえ決定する。

(注)慶弔時の任務代行について

島根地区・・・秋田千鶴第一副地区ガバナー・矢野 敏明 地区名誉顧問会議長

山口地区・・・中林嘉明第二副地区ガバナー・竹下雅雄 地区常任名誉顧問

以上、お願い申し上げます。

2016~2017 年  
キャビネット旅費・慶弔規定について(案)

(1) 旅費規程

	交通費	宿泊
役員	航空機(航空路線のあるところ) 列車(在来線・新幹線・急行・特急) 高速バス 汽船(特等)	実費 (上限 10,000 円)
職員	列車(在来線・新幹線・急行・特急) 高速バス 汽船(特等)	実費 (上限 10,000 円)

(注)

1. 旅費はキャビネット会議及び委員会に出席、又は出張の場合に支給する。
2. 交通費は JR 等公共交通機関最短路線の運賃および指定席（除：グリーン席）実費とする。50 km を超える場合は新幹線、在来線にあたっては特急を利用できる。
3. 職員が役員と同行する場合は必要に応じて役員並とすることができる。
4. 宿泊費は用務の都合で宿泊を必要とする場合にのみ実費(上限 10,000 円)を支給する。
5. 諸会議・研修会等の開催地を包括するゾーン内の出席者には、旅費を支給しない。但し、ガバナーが認める場合はその限りではない。
6. この規定は 2016 年 4 月 30 日より実施する。

(2) 慶弔規定

1. 特別な慶弔には祝電・祝辞・弔電を贈る
2. 地区名誉顧問、キャビネット構成員および地区委員については次による。
  - a) 死去したときは香典 10,000 円を贈る
  - b) 病氣・障害等により入院または自宅加療の期間が 3 週間を超えるときは見舞金 5,000 円を贈る
  - c) 災害、風水害等の災害があったときは見舞金を贈る。その額はガバナーが決定する。
3. クラブ会長、幹事、会計が死去したときは、香典 10,000 円を贈る。  
その他の会員に対しては弔電を贈る。
4. 献眼者、献体者に対しては、香典 10,000 円を贈る。

## 地区名誉顧問会議承認事項

### 副地区ガバナーの選出について

(2013年4月27日)

94年度より副地区ガバナーの選出が規定され、次年度副地区ガバナーがガバナーに立候補するときは、他の者は立候補できないので、地区としては副地区ガバナーの選出をする事になる。また、2009年より、第二副地区ガバナー選出がタイ・バンコク国際大会で決議された。

(1) 第1、第2副地区ガバナーに立候補者がある場合は、第2回キャビネット会議までに、クラブの推薦ゾーン及びリジョンの理解を求め、リジョンチェアパーソンを通じて、地区ガバナーまで届け出ることとする。

(2) リジョンのローテーションによる選出をする場合は、地区名誉顧問会議での申し合わせの通り、リジョンによるローテーションに従い、第2回キャビネット会議までに、リジョンチェアパーソンから地区ガバナーに届け出ることとする。

(3) 立候補者及びローテーションによるリジョンからの推薦が共にあった場合は、ローテーションによる副地区ガバナー候補者を優先する。

(4) リジョンによるローテーションでなく、立候補者が複数となった場合の手続きについては、慎重かつ早急に考慮すべき事項であるとの合意を得た。

(5) 第2回キャビネット会議までに、立候補者及びローテーション通りのリジョンから副地区ガバナーの推薦が共にない場合は、そのリジョンが属する県の他のリジョンにおいて選出の交代をお願いする。

(6) ローテーションによる選出ができなかったリジョンは、正規のローテーションの順番に至るまで副地区ガバナーの推薦を行うことはできない。但し、交代したリジョンの賛同が得られ、且つ推薦できる場合はその限りではない。

(7) 選出にあたっては、地区名誉顧問の方々ともご相談をし、ご協力を頂くとの合意を得た。地区名誉顧問会議長は調整役の任務に携わる。

ライオンズクラブ国際協会太平洋アジア課からのメール(2014/10/22)

### 国際会長賞・リーダーシップ賞に関する国際会長からの確認通達

10月15日全国ガバナー会でお話したとおり、国際会長からの今年度アワード推薦に関する通達をお知らせします。

日本からは、各準地区に対し、会長賞およびリーダーシップ賞それぞれ2名ずつを承認いたします。

以下をご注意ください。

1. 国際会長は、ガバナーの皆様には、「ライオンズの誇り」賞の達成を通じて受賞していただくよう努力していただきたいと願っており、そのため、ガバナー自身の自己推薦は受け付けられません。全目標を達成されたガバナーは、その結果により別途会長賞を授与されます。
2. 会長は、リジョンチェアとゾーンチェアに対しても、この役職のために用意された会長アワードを通じて受賞していただきたいと願っており、そのため、リジョンチェアとゾーンチェアの推薦は受け付けられません。目標を達成されたRCとZCは、その結果により別途リーダーシップ賞を授与されます。
3. ガバナーや、地区の各リーダーである皆様には、奉仕に素晴らしい貢献をされた、これまで表彰等されたことのない会員を見出し、推薦していただきたいと願っております。そのため、直近過去3年度の間同種のアワードを受賞されている会員の推薦は受け付けられません。(2011-12, 2012-13, 2013-14)
4. 以上の考え方から、務めている役職を理由とした 推薦は受け付けられません。

重複することがないように、各複合地区は一括ですべて揃った推薦要旨をご提出ください。

推薦のための書式や諸手続きはすでに年度当初に国際会長室から各複合地区及び地区に送付されています。再確認が必要でしたら、折り返しご連絡ください。各複合地区で、提出にあたり署名をいただく理事・元理事は以下のとおりです。

- 330 - 山浦晟暉 元国際理事
- 331 - 杉本忠夫 元国際理事
- 332 - 菊池伸治 元国際理事
- 333 - 清水英徳 国際理事
- 334 - 高田順一 元国際理事
- 335 - 西川義規 国際理事
- 336 - 谷野徹 元国際理事
- 337 - 不老安正 元国際理事

## YCE（ユースキャンプ及び交換）について

### (1) YCE事業の目的

ライオンズクラブ国際協会は「世界の人々の間に総合理解の精神を培い発展させる」と言うライオニズムの第1目的を実現する為、様々な国際交流を行っています。そしてその中でも、次世代を担う青少年に対する最も効果的な活動として青少年交換事業（YCE…Youth Camp Exchange）を推進しています。

国際協会・国際理事が1962年に青少年交換プログラムの設立をしています。プログラムの目的は以下の通りです。

- ①ライオニズムを通して、国際理解と親善を促進する。
- ②異なる文化的背景を持つ家庭や地域社会の生活を体験させる。
- ③青少年に諸外国の同年代の青少年と交流する機会を与える。
- ④他国の人と接する機会を青少年に与える。

以上の事はすなわち、交換生、スポンサークラブ、ホストクラブ、家庭が全員心に留めておくもので、関係者は個人的利益を考えずにプログラムを実施するように、自らの行動に細心の注意を払わなければならない。

### (2) YCE事業の歴史と今後の展望

国際交流YE事業は1962年国際理事会で決議され、現在多くの国に於いて実施されています。

その前年1961年に神戸とアメリカ・カリフォルニア州、ネバダ州との間に於いて行われた青少年の交換がその起源です。（日本ライオンズはYCE事業の先駆者）近年、一般家庭、学校などでも交流機会が増え、海外体験は日常的な出来事になって来ました。それと共にYCE事業を取り巻く環境が大きく変化し、派遣・受入れ共、減少傾向にあります。しかしながらライオンズクラブが行う、YCE事業は単なる海外経験を積むだけのものではなく、「小さな親善大使」として文化を学ぶ機会を提供するものです。青少年にとって他国への旅、ホストファミリーでの生活、異文化体験は人生を変える程の大きな体験となり、この経験は青少年を大きく成長させます。そして、将来の国際間の理解増進、国際協調にも結びついて行くものです。YCE事業は派遣して終わり、受入れして終わりではなく、むしろその後、生涯の及ぶ国際交流にも発展して行きます。そうならなければなりません。

### (3) YCE 憲章…一部を抜粋

- ライオンズ活動の基本組織でもあるライオンズクラブが、自らの名誉と責任の下に選考し、決定したユースである。
- YCE活動の真意である「自らの日常生活をありのままに海外の家庭で示し、相互の友好はもとより、自分の人生生活の向上に役立たせる」努力を素直に実行できる意思力のあるユースである。
- 自国の優れた礼節を体得し、守る事の出来るユースである。
- 訪問国の法律を誠実に理解し、順守する意思のあるユースである。
- ホスト家庭に対して、いささかも不快、迷惑その他不都合な感情、行為を与えない事を誓約出来るユースである。
- 精神、身体の健康について、いささかも不安もないユースである。
- 派遣国のライオンズYCE責任者が与えた、注意事項・指示事項を十分理解し、忠実に順守出来るユースである。

### (4) 交換生の選考

- すべての応募者は交換に先立ってスポンサークラブの選考を受け、交換生及び保護者は、YCEプログラム規定を理解し、プログラムの趣旨に従う事を誓約する同意書に署名し提出する。
- 年齢は原則として16～21歳（派遣時）とする。
- その他、学力・語学力・応募の動機等々はYCEプログラムマニュアル（第5版）記載の通り。

### (5) 種類

- YCE事業では、現在
- ①一般交換…Youth Exchange
  - ②直接交換…Special Request
  - ③国際ユースキャンプ…International Youth Camp
- 3種類で実施です。

\*通常 336-D地区では①に2泊3日程度のミニキャンプを実施しています。

\*予算的にゆるされれば、YCE 委員長方針で、336 複合と共催、或いは他複合とも可能です。(7)…④

\*②で、諸外国との姉妹或いは友好締結クラブと周年行事に併せて実施しています。

## (6) 運 営

YCE 事業は国際協会の YCE プログラムに則って実施される、単一クラブのアクティビティです。

YCE 事業は「派遣」「受入」の2つの作業から成立する。これからはどちらも不可欠な作業ではあるが、それぞれ独立した業務として捉えるものです。受入を不平に感じたり、派遣した事によって受入に義務を感じたりするのは、この原則に反しているだろう。各クラブは「派遣」と「受入」のそれぞれにおいて、優れた国際感覚を発揮することが必要です。

## (7) 地区 YCE 委員会の任務

地区 YCE 委員会は YCE 委員長の招集によって、ガバナーの基本方針に沿って行われる委員会に委員は必ず出席すること。任務は以下の通り。

①地区内の YCE 委員長に対し、YCE についての各種情報を提供する。情報は、YCE の意義、歴史、実施要領及び地区内の状況などが中心となる。

②単独で YCE 事業を実施しようとするクラブに対し、協力・援助を行う。

③地区内の単一クラブが連携して YCE 事業を実施する場合、その要領を準備する。

④他地区と連携して YCE 事業を行う場合は、複合地区 YCE 委員会を通して、他地区との連携を行う。

## (8) YCE 事業の MD336・海外窓口

MD336 ではアメリカ マサチューセッツ州、ミクロネシア、台湾との海外窓口になっていますが、現在は台湾のみとなっていて他はあまり交渉がなく休眠状態です。受入は毎年7月中旬よりおよそ3週間、35~40名程度受入、担当窓口としては、YCE 生を到着空港に出迎え、

全国の受入れ先迄届ける任務があります。又、引率して来る台湾役員との交流があります。派遣については、毎年8月初旬よりおよそ3週間、ここ数年は多くても10名程度の派遣で、派遣より受入の方が多く、今少し派遣を増員して派遣事業の更なる発展が望まれます。

冬期派遣受入れも同じ扱いですが、期間も短く毎年正月を挟んで2・3週間で実施しています。

#### (9) 日本ライオンズ 8複合での YCE 海外窓口・略号一覧表

…次頁の通り。

\*本事業も国際的にキャンプが主流になり「国際協会青少年交換プログラム」は「国際協会キャンプ及び青少年交換プログラム」に統合され、青少年交換委員長（YE 委員長）の役職は青少年キャンプ及び交換委員長（YCE 委員長）となった事をご承知の通りです。

MD336YE プログラムマニュアル（第5版）は2008年4月発行で既に8年を経過していて、改訂が望まれます。

\*本資料はMD336・YE プログラムマニュアル（第5版）を基に、ライオンズクラブ役員必携他関連の文献と、数回の研修資料を参考に編集、更に加筆・削除し、短時間に理解しやすい研修資料として編集しています。

編集について不都合な部分があればご容赦願います。

2016.4 文責 山根 健



(9) YCE海外担当窓口・略号一覧表

アメリカ方面		
国名	略号	窓口
MD4 *1	CA	330
ハワイ(CAMP)	HI CAMP	330
アラスカ	AK	331
メイン		331
コロラド	CO	332
オクラホマ	OK	332
テキサス	TX	332
アーカンソー	AR	333
ミズーリ	MO	333
ネブラスカ	NE	333
サウスカロライナ	SC	333
MD5 *2	SD	333
ユタ	UT	333
アイオワ(CAMP)	IA	335
イリノイ	IL	335
アリゾナ	AZ	335
アリゾナ(CAMP)	AZ CAMP	335
コネチカット	CT	335
フロリダ	FL	335
アイダホ	ID	335
インディアナ	IN	335
ケンタッキー	KY	335
モンタナ	MT	335
ミシガン	MI	335
メリーランド	MD	335
ノースカロライナ	NC	335
ニューヨーク	NY	335

国名	略号	窓口
オレゴン	OR	335
ペンシルバニア(CAMP)	PA CAMP	335
テネシー	TN	335
バーモント	VT	335
バージニア(CAMP)	VA CAMP	335
アラバマ		335
ノースウェストテリトリー		335
マサチューセッツ	MA	336
ジョージア	GA	337
カンサス	KS	337
ミネソタ	MN	337
ウィスコンシン	WI	337
ウエストバージニア	WV	337
中南米		
ペルー	Peru	335
メキシコ	MX	333
ブラジル	BZ	333
アルゼンチン	AG	333
カナダ		
国名	略号	窓口
MD19 *3	WA	335
アルバータ	AB	335
アルバータ(CAMP)	AB CAMP	335
マニトバ	MB	335
ノーバスコシア	NS	335
ケベック	QU	335
オンタリオ(CAMP)	ON	335
ユーコン	YU	335

オセアニア		
国名	略号	窓口
オーストラリア	A	335
オーストラリア(CAMP)	A CAMP	335
ニュージーランド	NZ	335

ヨーロッパ方面		
国名	略号	窓口
フランス	F	334
ドイツ	G	334
オーストリア	AS	334
イギリス&アイルランド	E	334
スイス	S	334
デンマーク	D	334
スウェーデン	SW	334
ノルウェー	N	334
フィンランド	FN	334
アイスランド	IC	334
オランダ	H	334
ベルギー	B	334
イタリア	IT	334
ルクセンブルグ	LU	334
ギリシャ	GR	334
スペイン	SP	334
ポルトガル	PT	334
エストニア	ES	334
チェコ&スロバキア	CS	334
ロシア	RS	334
ウクライナ	UKR	334
ルーマニア	RO	334

国名	略号	窓口
スロベニア	SL	334
クラアチア	CR	334
トルコ	TK	334
イスラエル	IS	334
マケドニア		334
ポーランド	PO	333
ハンガリー	HU	333

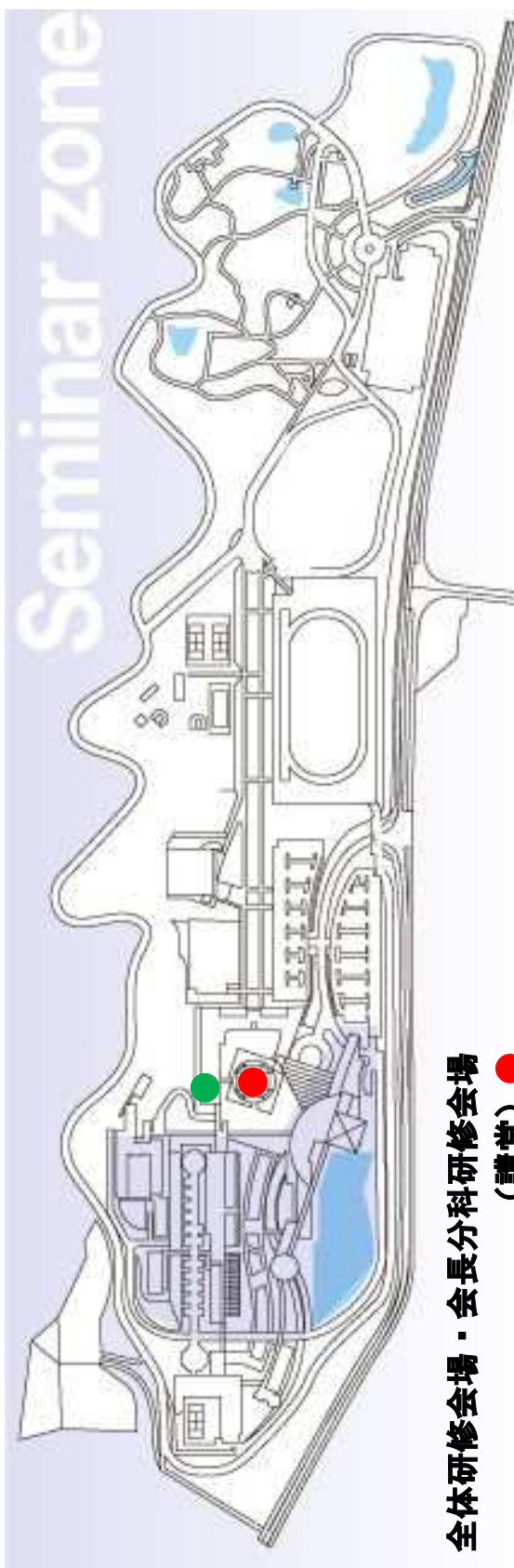
アジア		
国名	略号	窓口
香港	HK	330
モンゴル	MN	330
タイ	TH	330
カンボジア		332
フィリピン	PH	333
インド	INDIA	333
ネパール	NP	333
マレーシア	ML	335
韓国	KR	335
インドネシア	IND	335
台湾	RC	336
シンガポール	SY	337

\*1 カリフォルニア

\*2 ノースダコタ、サウスダコタ、サスカチュワン

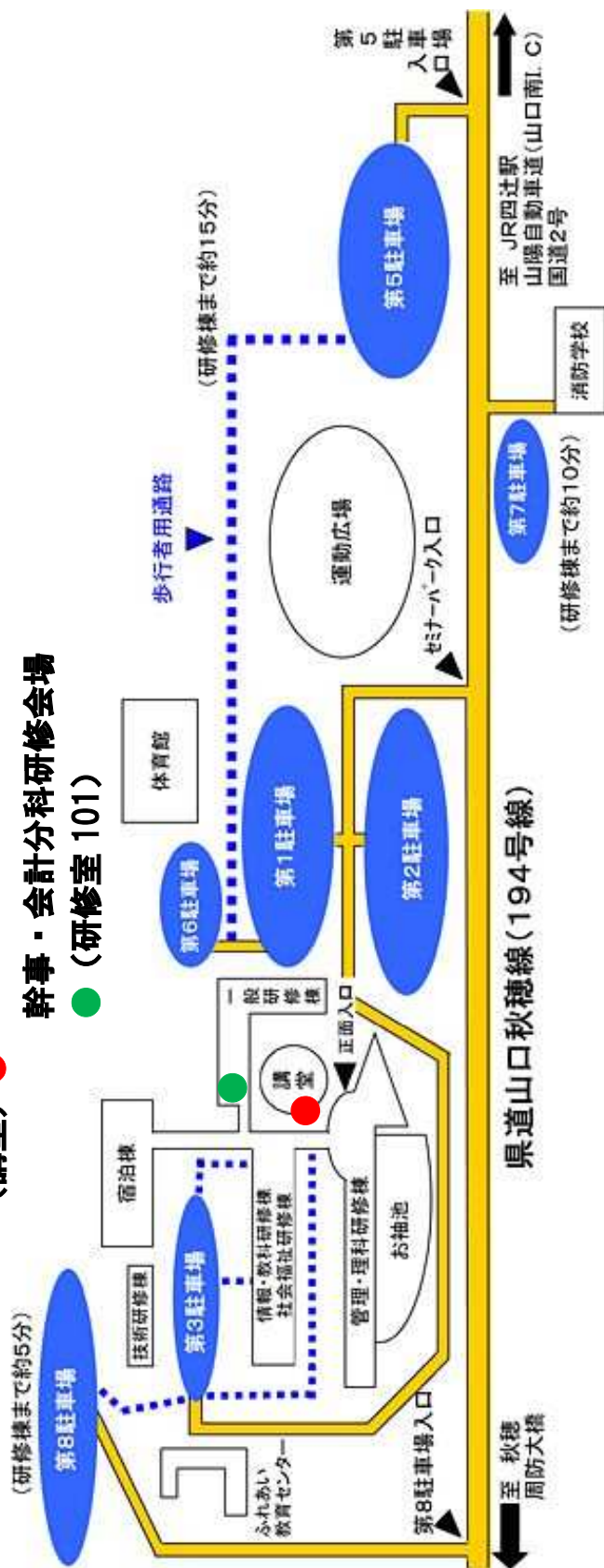
\*3 ブリティッシュコロンビア、ワシントンDC、コロンビア

# 山口県セミナーパーク 会場案内図



全体研修会場・会長分科研修会場  
(講堂) ●

幹事・会計分科研修会場  
● (研修室 101)





会場：山口県セミナーパーク  
〒754-0893 山口市秋穂二島 1062  
TEL083-987-1410 FAX083-987-1430  
[URL] <http://www.hito21.jp/seminarpark/>

## ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 2016-2017 年次期キャビネット事務局

〒740-0022 岩国市山手町1丁目 11-12 山手ビル 2F

TEL.0827-93-4128 FAX.0827-93-2724

E-mail: iwakuni@lc336d.com